

深谷市環境基本計画策定業務  
アンケート結果報告書  
(市民アンケート編)

令和4年4月

# 1 アンケート調査の概要

## (1) 目的

深谷市環境基本計画の見直しに当たり、市民、事業者の皆様と生活をされる中で、お住まいの地域や市全域に関して日頃感じておられる事をお聴きし、計画に反映できるよう実施するものです。

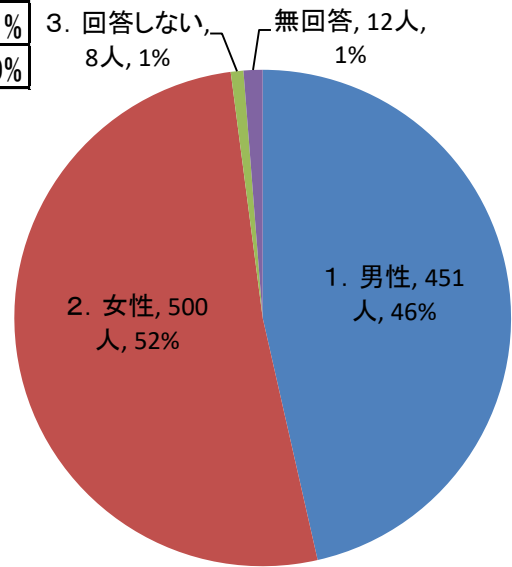
## (2) 市民アンケート調査

- (a) 調査対象 深谷市に居住する18歳以上の男女 2,000人
- (b) 抽出方法 大字ごとに案分し、住民基本台帳データから無作為に抽出
- (c) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (d) 調査期間 令和3（2021）年12月1日～12月28日
- (e) 回収数 971人（回収率48.6%）

## 2 回答者の属性

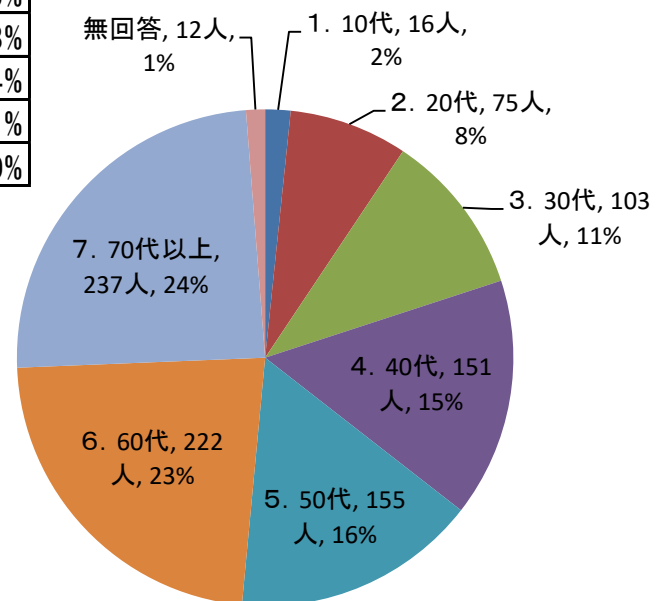
### 1-1 性別について

1. 男性	451人	46%
2. 女性	500人	51%
3. 回答しない	8人	1%
無回答	12人	1%
計	971人	100%



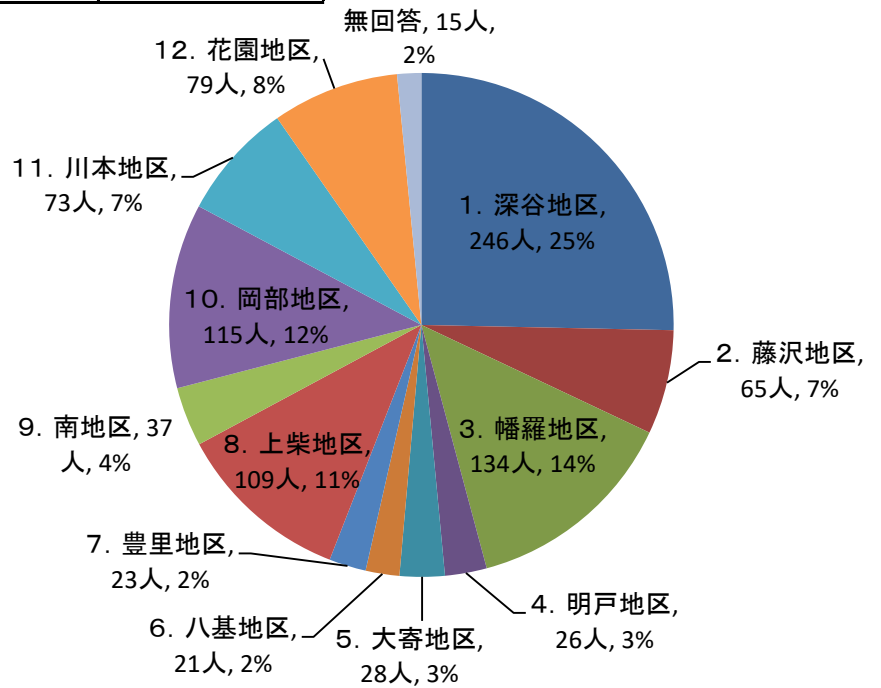
### 1-2 年齢について

1. 10代	16人	2%
2. 20代	75人	8%
3. 30代	103人	11%
4. 40代	151人	16%
5. 50代	155人	16%
6. 60代	222人	23%
7. 70代以上	237人	24%
無回答	12人	1%
計	971人	100%



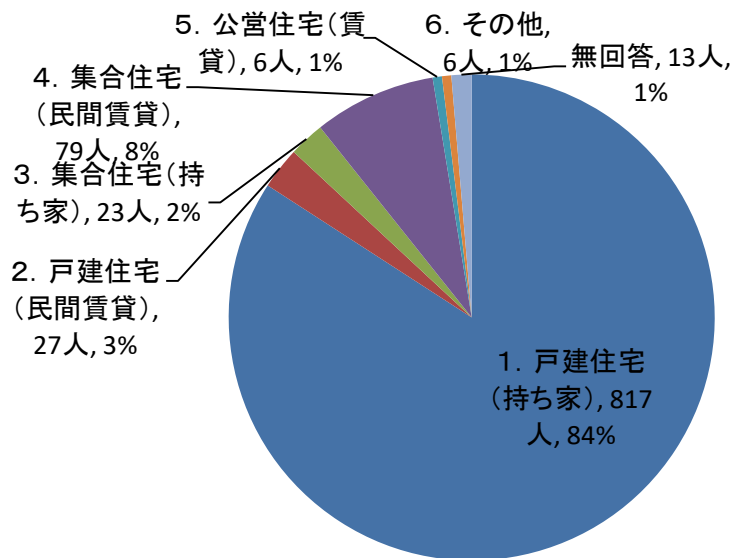
1-3 居住地区について

1. 深谷地区	246人	25%
2. 藤沢地区	65人	7%
3. 幡羅地区	134人	14%
4. 明戸地区	26人	3%
5. 大寄地区	28人	3%
6. 八基地区	21人	2%
7. 豊里地区	23人	2%
8. 上柴地区	109人	11%
9. 南地区	37人	4%
10. 岡部地区	115人	12%
11. 川本地区	73人	8%
12. 花園地区	79人	8%
無回答	15人	2%
計	971人	100%



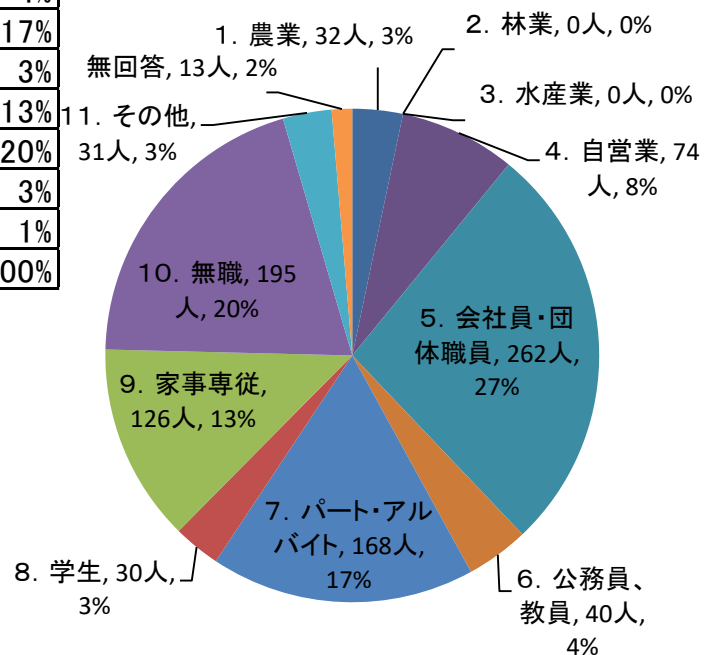
1-4 住居の形態について

1. 戸建住宅(持ち家)	817人	84%
2. 戸建住宅(民間賃貸)	27人	3%
3. 集合住宅(持ち家)	23人	2%
4. 集合住宅(民間賃貸)	79人	8%
5. 公営住宅(賃貸)	6人	1%
6. その他	6人	1%
無回答	13人	1%
計	971人	100%



1-5 職業について

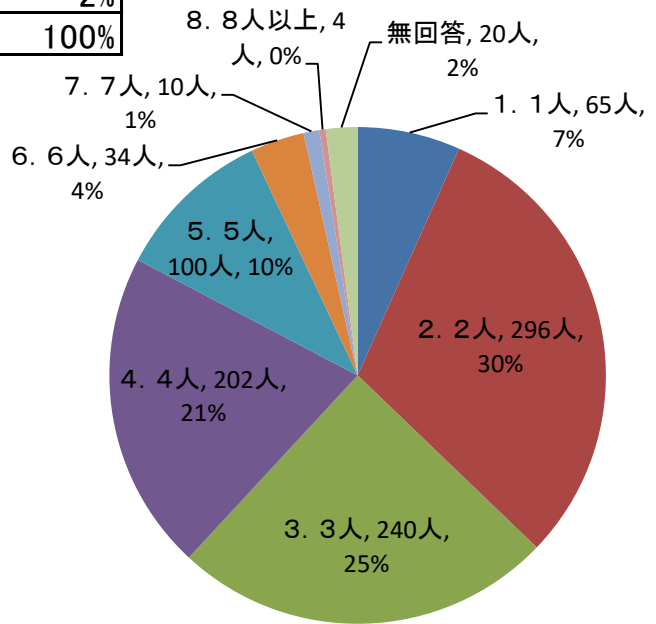
1. 農業	32人	3%
2. 林業	0人	0%
3. 水産業	0人	0%
4. 自営業	74人	8%
5. 会社員・団体職員	262人	27%
6. 公務員、教員	40人	4%
7. パート・アルバイト	168人	17%
8. 学生	30人	3%
9. 家事専従	126人	13%
10. 無職	195人	20%
11. その他	31人	3%
無回答	13人	1%
計	971人	100%



1-6 家族構成について

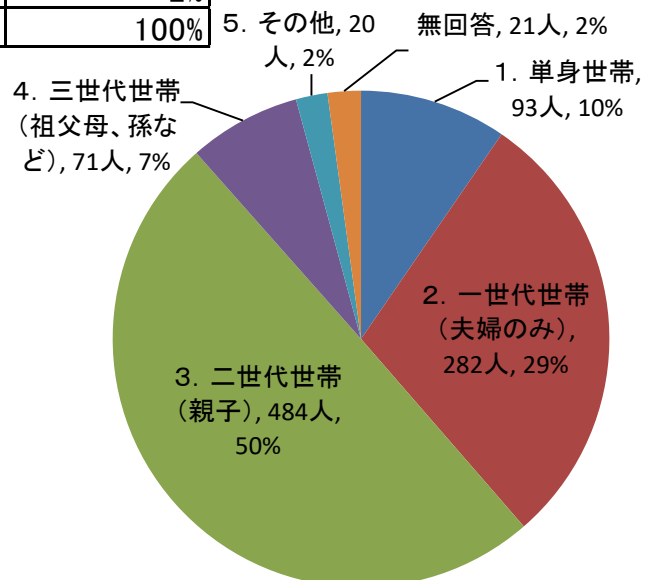
(1) 家族の人数

1. 1人	65人	7%
2. 2人	296人	30%
3. 3人	240人	25%
4. 4人	202人	21%
5. 5人	100人	10%
6. 6人	34人	4%
7. 7人	10人	1%
8. 8人以上	4人	0%
無回答	20人	2%
計	971人	100%



(2) 家族構成

1. 単身世帯	93人	10%
2. 一世代世帯(夫婦のみ)	282人	29%
3. 二世世代世帯(親子)	484人	50%
4. 三世世代世帯(祖父母、孫など)	71人	7%
5. その他	20人	2%
無回答	21人	2%
計	971人	100%



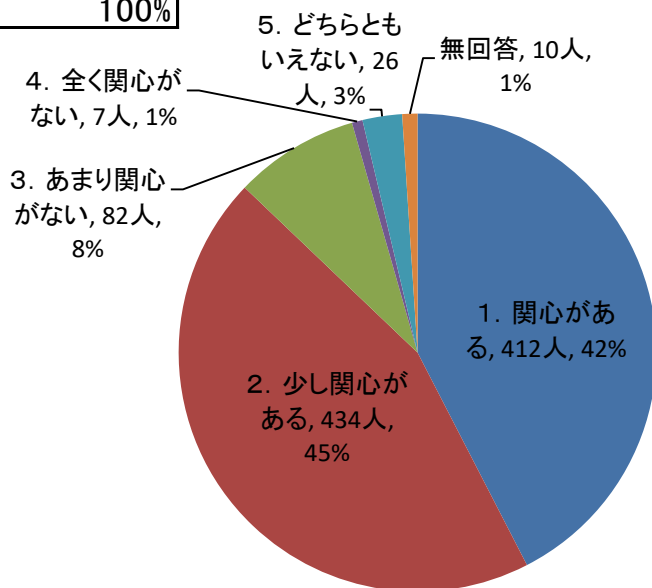
### 3 環境への意識調査

#### (1) 環境全般について

問2-7 あなたは、環境問題に関心を持っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・設問に対し、「少し関心がある」が最も多く45%、次いで「関心がある」が42%となりました。
- ・「関心がある」と「少し関心がある」の合計は87%と、環境問題に少しでも関心がある人が大多数を占めました。

1. 関心がある	412人	42%
2. 少し関心がある	434人	45%
3. あまり関心がない	82人	8%
4. 全く関心がない	7人	1%
5. どちらともいえない	26人	3%
無回答	10人	1%
計	971人	100%



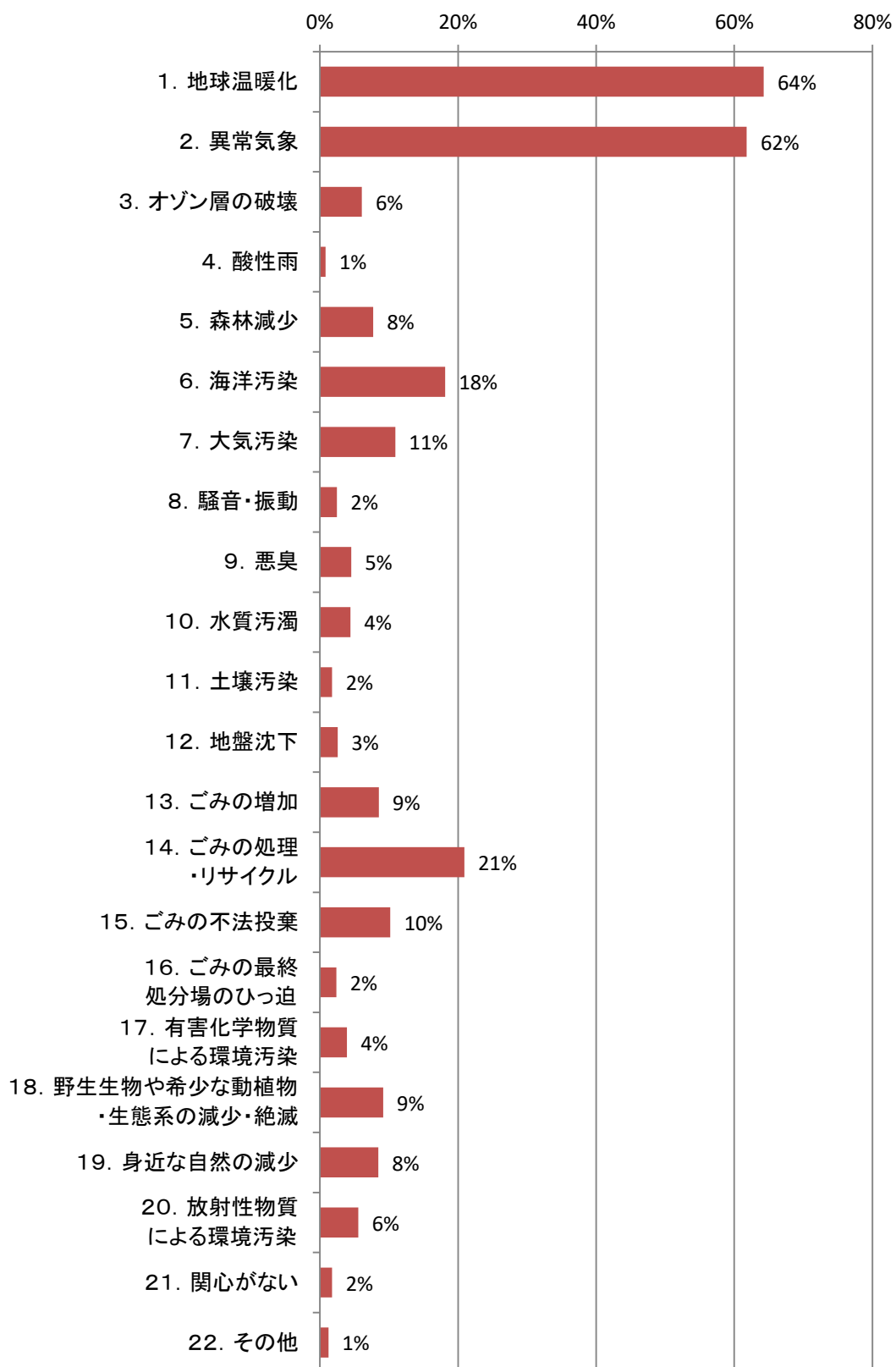
問2-8 あなたは、どのような環境問題に関心を持っていますか。

(特に関心のあるものを3つまで○)

・設問に対し、「地球温暖化」の回答が最も多く64%、次いで「異常気象」の回答が62%という結果となりました。

1. 地球温暖化	624人	64%
2. 異常気象	600人	62%
3. オゾン層の破壊	59人	6%
4. 酸性雨	8人	1%
5. 森林減少	75人	8%
6. 海洋汚染	176人	18%
7. 大気汚染	106人	11%
8. 騒音・振動	24人	2%
9. 悪臭	44人	5%
10. 水質汚濁	43人	4%
11. 土壌汚染	17人	2%
12. 地盤沈下	25人	3%
13. ごみの増加	83人	9%
14. ごみの処理 ・リサイクル	203人	21%
15. ごみの不法投棄	99人	10%
16. ごみの最終 処分場のひっ迫	23人	2%
17. 有害化学物質 による環境汚染	38人	4%
18. 野生生物や希少な動植物 ・生態系の減少・絶滅	89人	9%
19. 身近な自然の減少	82人	8%
20. 放射性物質 による環境汚染	54人	6%
21. 関心がない	17人	2%
22. その他	12人	1%
計	2,506人	258%



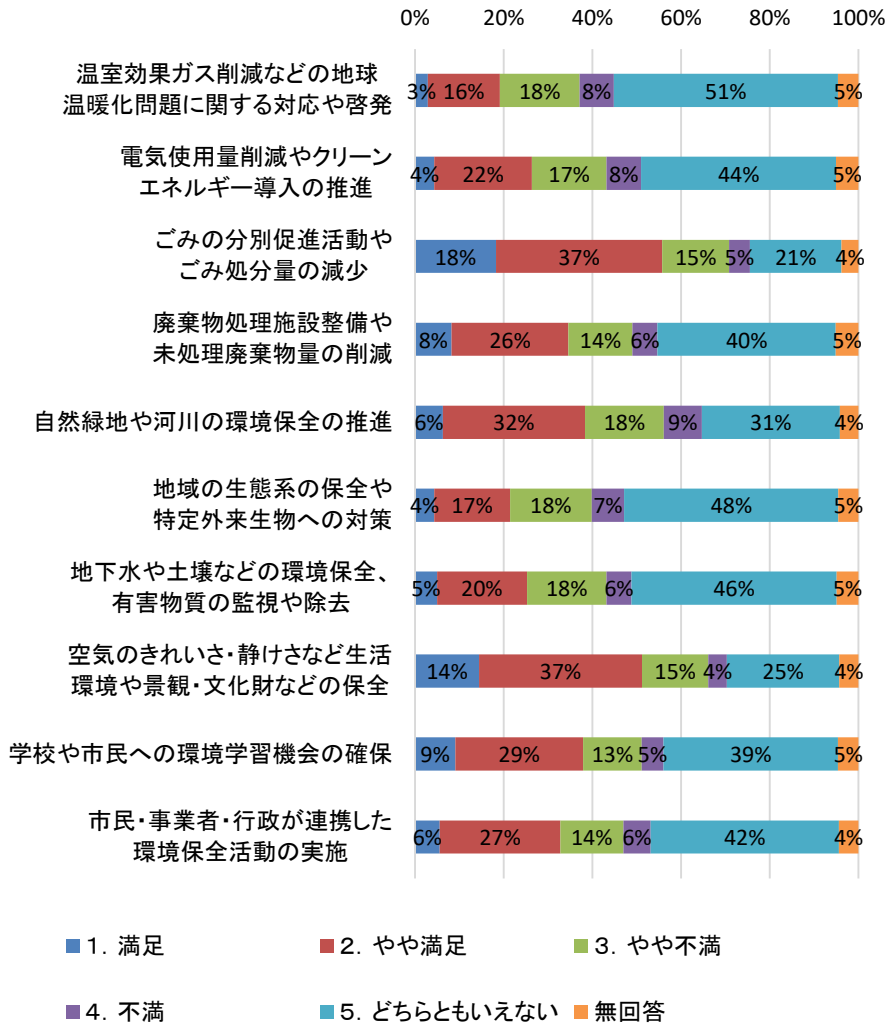


問2 - 9 深谷市の環境対策に関して、満足度をお答えください。

(それぞれの項目であてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「満足」「やや満足」との回答は「ごみの分別促進活動やごみ処分量の減少」が最も多く、55%となりました。

・次いで「空気のきれいさ・静けさなど生活環境や景観・文化財などの保全」が51%となりました。



・満足度のクロス集計

温室効果ガス削減などの地球温暖化問題に関する対応や啓発

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらともいえない	無回答
男性	451人	3%	18%	21%	11%	44%	3%
女性	500人	3%	16%	15%	5%	56%	5%
10代	16人	6%	25%	13%	6%	50%	0%
20代	75人	5%	11%	19%	4%	59%	3%
30代	103人	2%	17%	9%	3%	68%	2%
40代	151人	3%	19%	15%	8%	52%	3%
50代	155人	3%	10%	21%	10%	54%	3%
60代	222人	2%	18%	19%	7%	48%	6%
70代以上	237人	3%	19%	21%	10%	41%	6%

電気使用量削減やクリーンエネルギー導入の推進

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いけない	無回答
男性	451人	4%	22%	20%	11%	39%	4%
女性	500人	5%	23%	14%	5%	48%	5%
10代	16人	6%	25%	13%	6%	44%	6%
20代	75人	9%	21%	12%	4%	49%	4%
30代	103人	6%	21%	11%	2%	58%	2%
40代	151人	7%	24%	13%	9%	44%	2%
50代	155人	2%	18%	20%	11%	46%	3%
60代	222人	2%	25%	16%	10%	40%	6%
70代以上	237人	4%	22%	22%	7%	39%	8%

ごみの分別促進活動やごみ処分量の減少

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いけない	無回答
男性	451人	19%	39%	15%	5%	20%	3%
女性	500人	18%	37%	16%	4%	21%	4%
10代	16人	31%	25%	0%	6%	31%	6%
20代	75人	19%	39%	12%	0%	27%	4%
30代	103人	19%	32%	12%	3%	32%	2%
40代	151人	22%	34%	10%	3%	28%	2%
50代	155人	15%	42%	16%	5%	20%	2%
60代	222人	15%	36%	20%	7%	18%	4%
70代以上	237人	20%	41%	17%	6%	11%	5%

廃棄物処理施設整備や未処理廃棄物量の削減

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いけない	無回答
男性	451人	8%	29%	15%	7%	37%	3%
女性	500人	9%	24%	14%	4%	43%	6%
10代	16人	19%	31%	6%	0%	38%	6%
20代	75人	15%	16%	11%	4%	51%	4%
30代	103人	6%	25%	9%	2%	56%	2%
40代	151人	9%	31%	11%	5%	42%	3%
50代	155人	7%	25%	17%	6%	41%	3%
60代	222人	8%	25%	16%	7%	39%	5%
70代以上	237人	8%	30%	19%	7%	29%	8%

自然緑地や河川の環境保全の推進

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いけない	無回答
男性	451人	7%	31%	22%	11%	26%	3%
女性	500人	6%	33%	15%	6%	35%	5%
10代	16人	13%	38%	6%	0%	38%	6%
20代	75人	9%	31%	16%	4%	37%	3%
30代	103人	8%	27%	13%	8%	44%	1%
40代	151人	10%	38%	13%	5%	33%	2%
50代	155人	5%	35%	21%	7%	30%	3%
60代	222人	3%	29%	22%	12%	31%	4%
70代以上	237人	7%	32%	20%	11%	22%	7%

地域の生態系の保全や特定外来生物への対策

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いけない	無回答
男性	451人	4%	17%	23%	10%	43%	4%
女性	500人	5%	17%	15%	5%	54%	5%
10代	16人	13%	19%	19%	0%	44%	6%
20代	75人	8%	20%	16%	0%	53%	3%
30代	103人	9%	17%	13%	4%	56%	1%
40代	151人	7%	22%	11%	7%	52%	2%
50代	155人	3%	17%	19%	8%	50%	3%
60代	222人	1%	14%	20%	9%	49%	7%
70代以上	237人	3%	16%	25%	10%	40%	6%

地下水や土壌などの環境保全、有害物質の監視や除去

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いけない	無回答
男性	451人	5%	21%	21%	7%	42%	4%
女性	500人	5%	19%	15%	4%	50%	6%
10代	16人	13%	19%	13%	0%	50%	6%
20代	75人	7%	17%	16%	3%	55%	3%
30代	103人	7%	18%	12%	3%	59%	1%
40代	151人	7%	23%	13%	5%	50%	2%
50代	155人	4%	22%	21%	5%	46%	3%
60代	222人	2%	18%	18%	8%	47%	6%
70代以上	237人	5%	22%	23%	7%	35%	8%

空気のきれいさ・静けさなど生活環境や景観・文化財などの保全

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いえない	無回答
男性	451人	15%	34%	16%	6%	25%	4%
女性	500人	14%	40%	14%	3%	25%	4%
10代	16人	25%	38%	0%	0%	31%	6%
20代	75人	20%	25%	15%	3%	35%	3%
30代	103人	17%	38%	14%	3%	27%	2%
40代	151人	18%	40%	12%	2%	26%	2%
50代	155人	15%	37%	14%	8%	25%	2%
60代	222人	8%	36%	20%	5%	25%	5%
70代以上	237人	15%	39%	14%	4%	21%	7%

学校や市民への環境学習機会の確保

	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いえない	無回答
男性	451人	9%	27%	15%	7%	37%	4%
女性	500人	9%	31%	12%	3%	41%	5%
10代	16人	13%	38%	13%	0%	31%	6%
20代	75人	15%	28%	8%	4%	43%	3%
30代	103人	11%	26%	8%	4%	50%	1%
40代	151人	15%	30%	11%	3%	39%	2%
50代	155人	10%	31%	14%	7%	35%	3%
60代	222人	4%	25%	16%	6%	43%	7%
70代以上	237人	8%	32%	16%	5%	33%	6%

市民・事業者・行政が連携した環境保全活動の実施

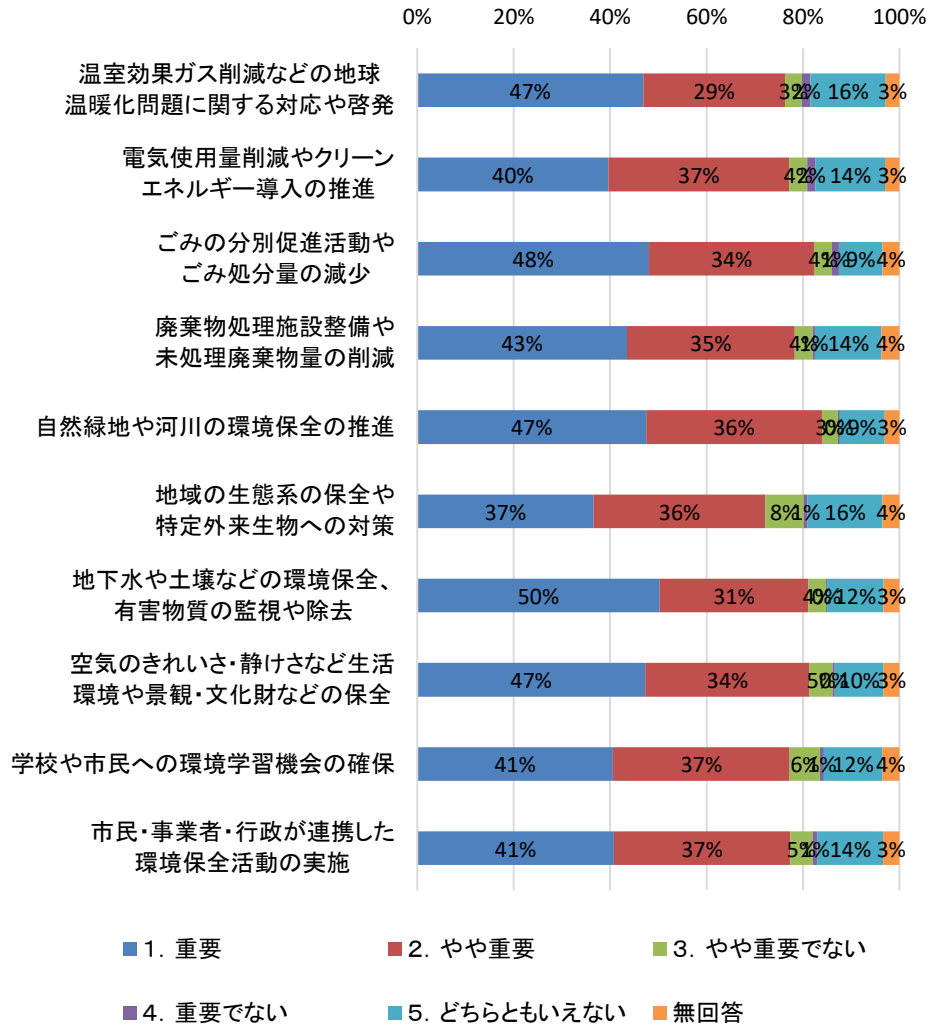
	回答者数	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いえない	無回答
男性	451人	5%	27%	17%	8%	39%	4%
女性	500人	6%	28%	12%	4%	46%	4%
10代	16人	13%	31%	13%	0%	38%	6%
20代	75人	12%	27%	13%	1%	44%	3%
30代	103人	8%	21%	4%	6%	60%	1%
40代	151人	9%	25%	14%	3%	47%	2%
50代	155人	3%	32%	16%	8%	38%	3%
60代	222人	2%	24%	17%	9%	42%	6%
70代以上	237人	5%	31%	16%	7%	35%	6%

問2 - 10 深谷市の環境対策に関して、重要度をお答えください。

(それぞれの項目であてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「重要」「やや重要」との回答は「自然緑地や河川の環境保全の推進」が最も多く、83%となりました。

・次いで「ごみの分別促進活動やごみ処分量の減少」が82%となりました。



・重要度のクロス集計

温室効果ガス削減などの地球温暖化問題に関する対応や啓発

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらともいえない	無回答
男性	451人	45%	31%	4%	3%	15%	2%
女性	500人	49%	29%	2%	1%	16%	3%
10代	16人	31%	31%	0%	6%	31%	0%
20代	75人	40%	31%	5%	3%	19%	3%
30代	103人	28%	35%	3%	6%	27%	1%
40代	151人	45%	34%	5%	1%	13%	1%
50代	155人	48%	28%	4%	3%	14%	3%
60代	222人	49%	28%	2%	1%	16%	4%
70代以上	237人	57%	26%	3%	0%	10%	3%

電気使用量削減やクリーンエネルギー導入の推進

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらとも いえない	無回答
男性	451人	41%	36%	6%	2%	13%	2%
女性	500人	39%	39%	2%	1%	16%	3%
10代	16人	31%	25%	19%	6%	13%	6%
20代	75人	41%	25%	11%	1%	19%	3%
30代	103人	28%	36%	6%	5%	24%	1%
40代	151人	40%	40%	4%	1%	13%	1%
50代	155人	40%	39%	1%	3%	13%	3%
60代	222人	43%	36%	2%	1%	14%	3%
70代以上	237人	42%	41%	3%	0%	11%	4%

ごみの分別促進活動やごみ処分量の減少

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらとも いえない	無回答
男性	451人	45%	35%	5%	2%	9%	3%
女性	500人	52%	33%	2%	1%	9%	3%
10代	16人	56%	13%	0%	6%	19%	6%
20代	75人	51%	29%	4%	1%	12%	3%
30代	103人	37%	32%	7%	3%	19%	2%
40代	151人	50%	34%	4%	1%	9%	2%
50代	155人	51%	30%	6%	1%	8%	5%
60代	222人	45%	40%	2%	2%	7%	4%
70代以上	237人	52%	35%	3%	0%	5%	4%

廃棄物処理施設整備や未処理廃棄物量の削減

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらとも いえない	無回答
男性	451人	41%	35%	5%	1%	13%	4%
女性	500人	46%	35%	2%	0%	14%	3%
10代	16人	38%	38%	0%	0%	19%	6%
20代	75人	41%	31%	7%	1%	15%	5%
30代	103人	31%	35%	8%	0%	24%	2%
40代	151人	43%	36%	3%	1%	15%	2%
50代	155人	43%	39%	5%	1%	9%	4%
60代	222人	43%	37%	2%	1%	14%	4%
70代以上	237人	53%	31%	2%	0%	10%	4%

自然緑地や河川の環境保全の推進

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらともいえない	無回答
男性	451人	48%	36%	4%	1%	8%	3%
女性	500人	48%	37%	3%	0%	10%	3%
10代	16人	38%	38%	6%	0%	13%	6%
20代	75人	51%	31%	3%	0%	12%	4%
30代	103人	50%	31%	3%	2%	13%	2%
40代	151人	47%	40%	3%	0%	8%	2%
50代	155人	48%	39%	3%	1%	6%	3%
60代	222人	45%	38%	4%	0%	9%	3%
70代以上	237人	50%	35%	3%	0%	9%	3%

地域の生態系の保全や特定外来生物への対策

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらともいえない	無回答
男性	451人	35%	35%	11%	1%	14%	3%
女性	500人	38%	37%	5%	0%	16%	4%
10代	16人	38%	31%	6%	0%	19%	6%
20代	75人	43%	31%	7%	0%	16%	4%
30代	103人	40%	27%	8%	0%	23%	2%
40代	151人	38%	40%	8%	1%	11%	2%
50代	155人	37%	37%	9%	2%	12%	3%
60代	222人	34%	34%	11%	0%	17%	4%
70代以上	237人	35%	40%	5%	1%	15%	4%

地下水や土壌などの環境保全、有害物質の監視や除去

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらともいえない	無回答
男性	451人	49%	30%	6%	0%	12%	3%
女性	500人	51%	32%	2%	0%	11%	4%
10代	16人	38%	50%	0%	0%	6%	6%
20代	75人	45%	32%	4%	0%	15%	4%
30代	103人	45%	30%	3%	0%	19%	3%
40代	151人	48%	34%	3%	0%	12%	2%
50代	155人	54%	29%	5%	0%	9%	3%
60代	222人	47%	32%	4%	1%	12%	4%
70代以上	237人	58%	28%	3%	0%	9%	3%



空気のきれいさ・静けさなど生活環境や景観・文化財などの保全

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらともいえない	無回答
男性	451人	46%	34%	6%	1%	10%	3%
女性	500人	48%	35%	3%	0%	10%	3%
10代	16人	56%	31%	0%	0%	6%	6%
20代	75人	49%	27%	5%	1%	13%	4%
30代	103人	49%	27%	7%	1%	15%	2%
40代	151人	49%	34%	7%	0%	7%	3%
50代	155人	44%	39%	5%	1%	8%	3%
60代	222人	42%	38%	5%	0%	11%	4%
70代以上	237人	52%	33%	3%	0%	9%	3%

学校や市民への環境学習機会の確保

	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらともいえない	無回答
男性	451人	42%	34%	8%	2%	11%	3%
女性	500人	40%	39%	5%	0%	13%	4%
10代	16人	38%	25%	13%	6%	13%	6%
20代	75人	43%	28%	11%	0%	15%	4%
30代	103人	40%	33%	3%	3%	19%	2%
40代	151人	46%	36%	7%	0%	9%	2%
50代	155人	42%	35%	8%	1%	10%	3%
60代	222人	37%	39%	5%	1%	13%	5%
70代以上	237人	40%	42%	5%	0%	10%	4%

市民・事業者・行政が連携した環境保全活動の実施

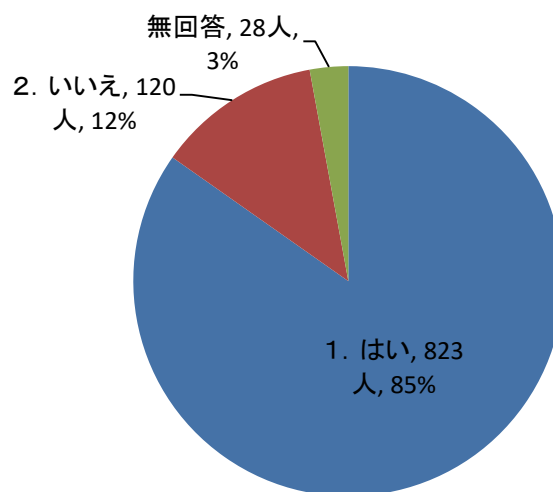
	回答者数	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	どちらともいえない	無回答
男性	451人	39%	38%	6%	2%	12%	3%
女性	500人	42%	36%	4%	0%	14%	4%
10代	16人	38%	31%	0%	0%	25%	6%
20代	75人	39%	37%	7%	0%	13%	4%
30代	103人	35%	36%	8%	1%	18%	2%
40代	151人	42%	36%	7%	1%	11%	2%
50代	155人	35%	43%	6%	1%	12%	3%
60代	222人	39%	36%	3%	1%	16%	4%
70代以上	237人	49%	34%	2%	1%	10%	4%

問2 - 1 1 あなたは、日常生活のなかで環境を守るための取り組みを行っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

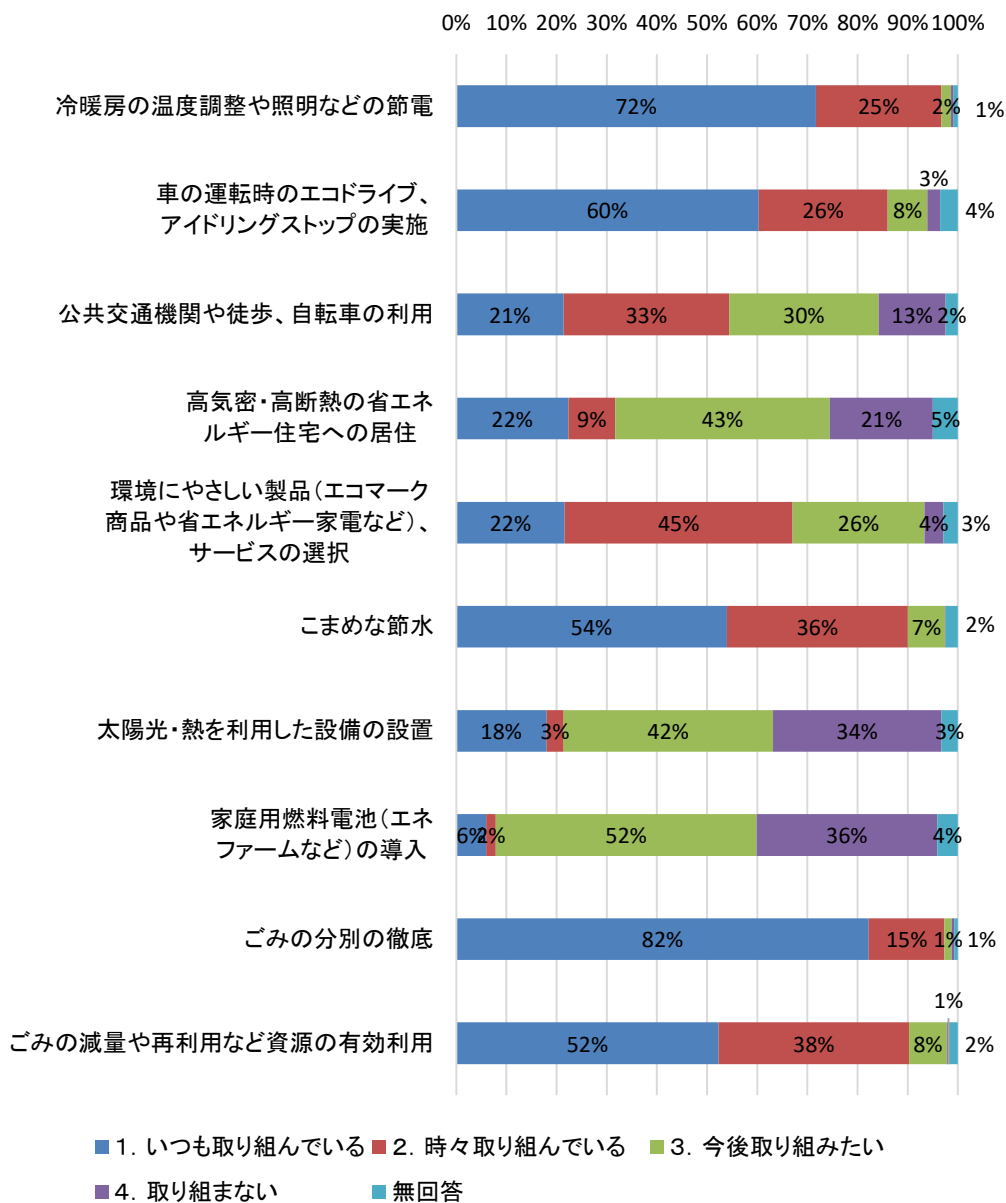
・設問に対し、「はい」の回答が最も多く85%となりました。

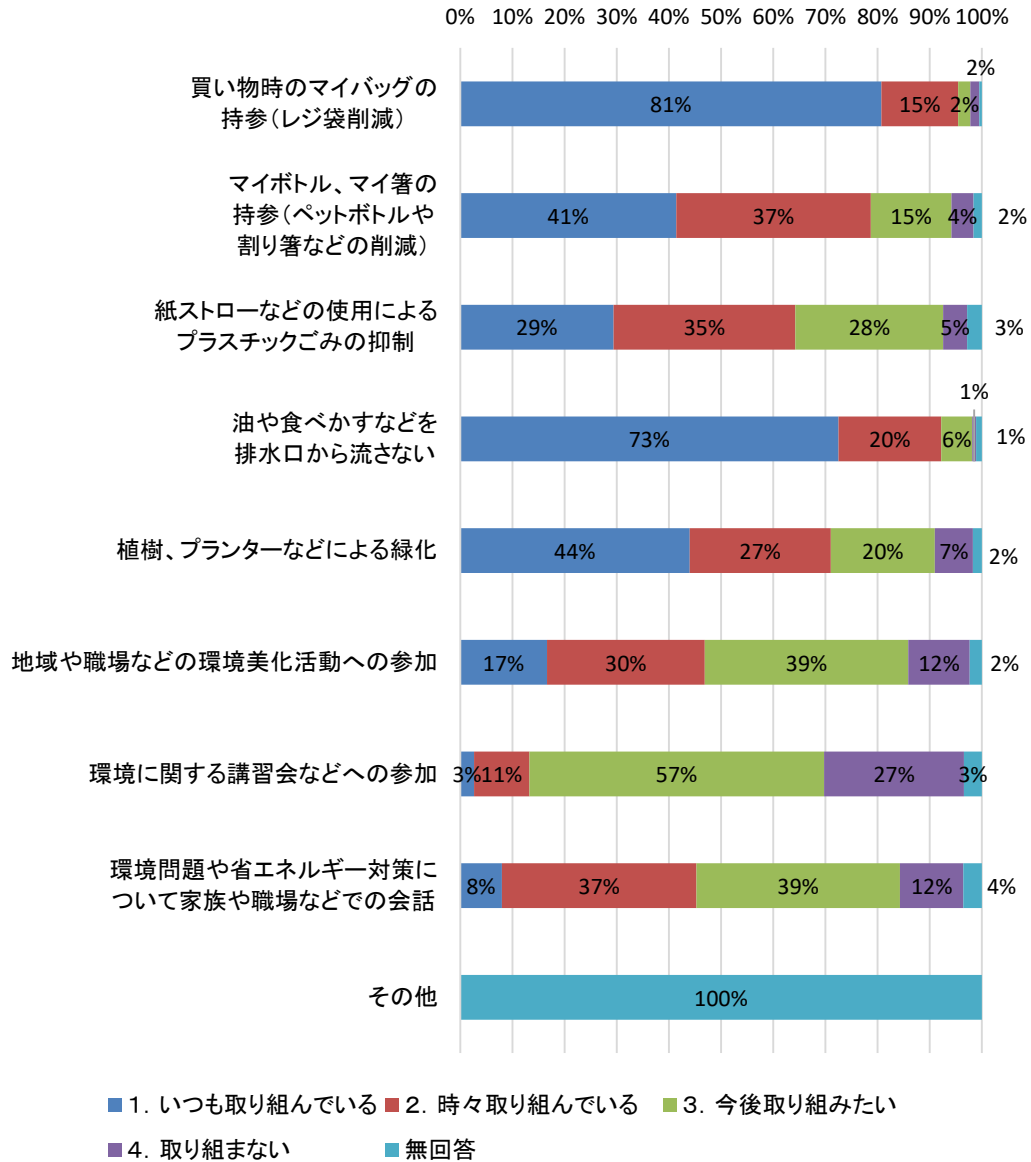
1. はい	823人	85%
2. いいえ	120人	12%
無回答	28人	3%
計	971人	100%



問2-12 問11で「はい」と回答した方にお伺いします。環境を守るための取り組みの実施状況についてお答えください。(それぞれの項目であてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「いつも取り組んでいる」の回答が最も多いのは「ごみの分別の徹底」で82%、次いで「買い物時のマイバッグの持参」が81%という結果となりました。

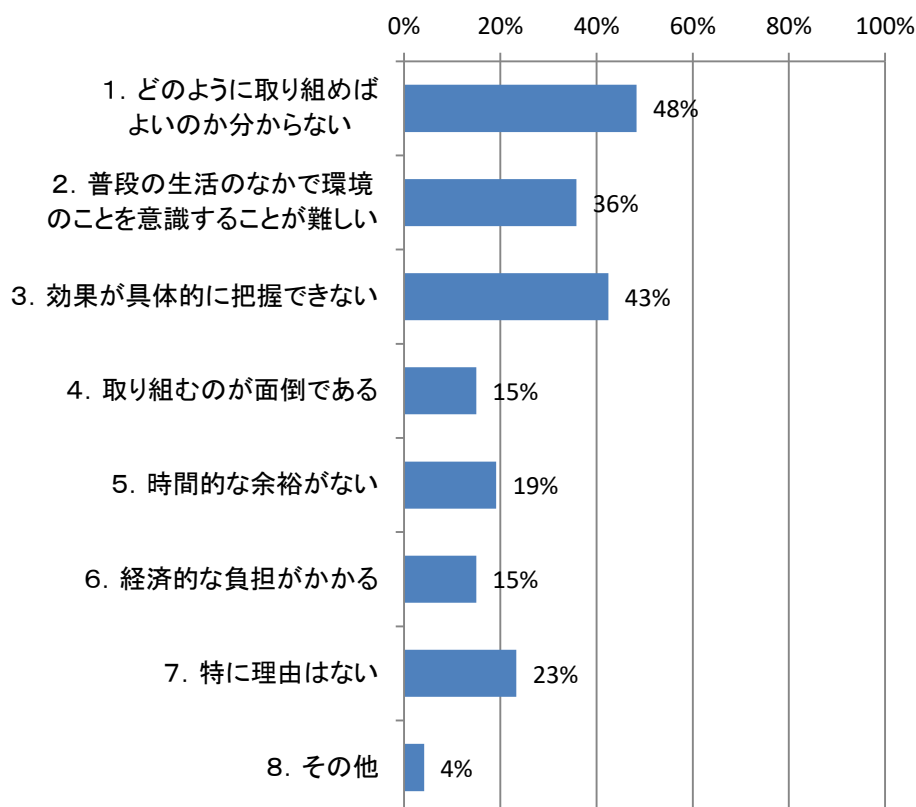




問2 - 13 問11で「いいえ」と回答した方にお伺いします。環境を守るための取り組みを行っていない理由をお答えください。(あてはまるものを3つまで○)

・設問に対し、「どのように取り組めばよいのか分からない」の回答が最も多く48%、次いで「効果が具体的に把握できない」の回答が43%という結果となりました。

1. どのように取り組めばよいのか分からない	58人	48%
2. 普段の生活のなかで環境のことを意識することが難しい	43人	36%
3. 効果が具体的に把握できない	51人	43%
4. 取り組むのが面倒である	18人	15%
5. 時間的な余裕がない	23人	19%
6. 経済的な負担がかかる	18人	15%
7. 特に理由はない	28人	23%
8. その他	5人	4%
計	244人	204%

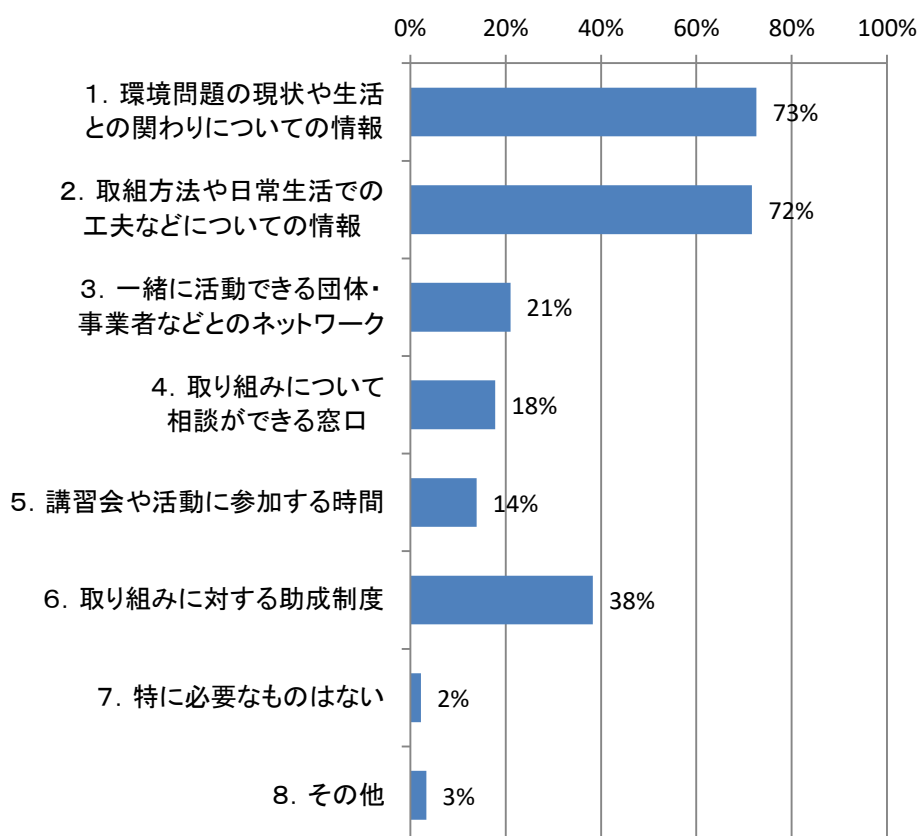


問2 - 14 あなたは、環境を守るための取り組みを進めるうえで、何が必要だと思いますか。

(特に必要だと思うものを3つまで○)

・設問に対し、「環境問題の現状や生活との関わりについての情報」の回答が最も多く73%、次いで「取組方法や日常生活での工夫などについての情報」の回答が72%という結果となりました。

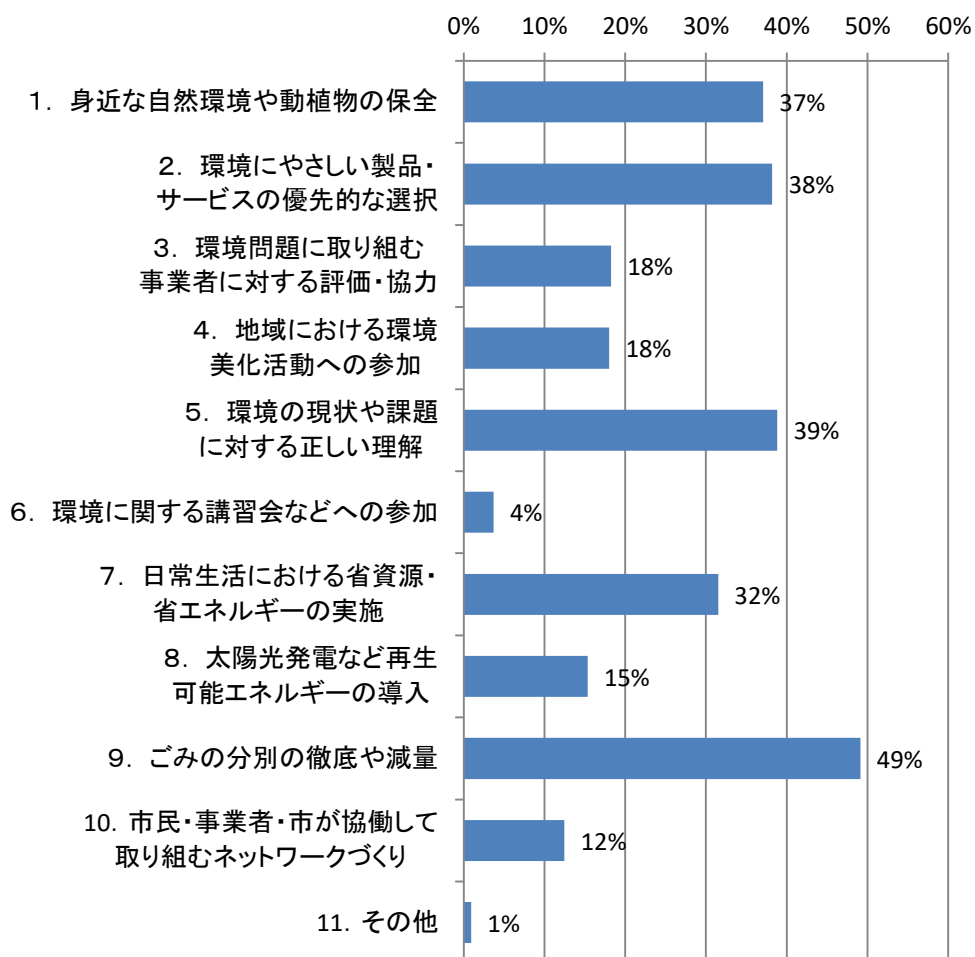
1. 環境問題の現状や生活との関わりについての情報	705人	73%
2. 取組方法や日常生活での工夫などについての情報	696人	72%
3. 一緒に活動できる団体・事業者などとのネットワーク	204人	21%
4. 取り組みについて相談ができる窓口	173人	18%
5. 講習会や活動に参加する時間	135人	14%
6. 取り組みに対する助成制度	372人	38%
7. 特に必要なものはない	22人	2%
8. その他	33人	3%
計	2,340人	243%



問2 - 15 今後、環境を守るための取り組みを推進するうえで、市民の役割として何が重要だと思いますか。(特に重要だと思うものを3つまで○)

・設問に対し、「ごみの分別の徹底や減量」の回答が最も多く49%、次いで「環境の現状や課題に対する正しい理解」の回答が39%という結果となりました。

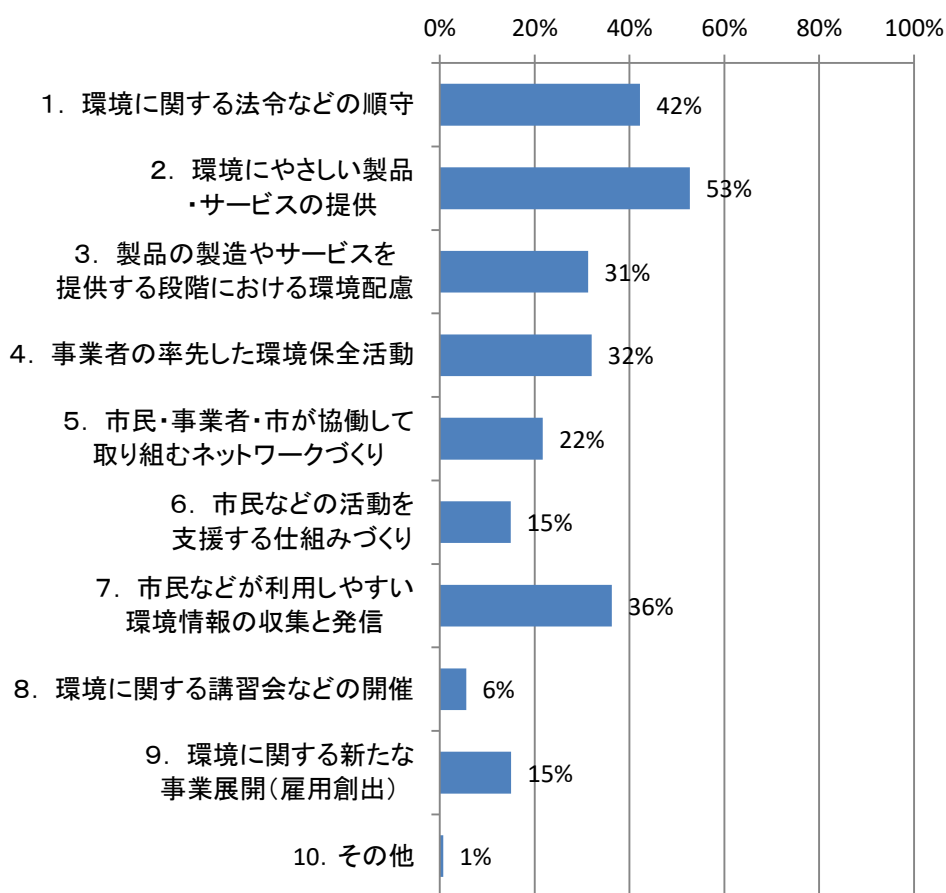
1. 身近な自然環境や動植物の保全	360人	37%
2. 環境にやさしい製品・サービスの優先的な選択	371人	38%
3. 環境問題に取り組む事業者に対する評価・協力	177人	18%
4. 地域における環境美化活動への参加	175人	18%
5. 環境の現状や課題に対する正しい理解	377人	39%
6. 環境に関する講習会などへの参加	36人	4%
7. 日常生活における省資源・省エネルギーの実施	306人	32%
8. 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入	149人	15%
9. ごみの分別の徹底や減量	477人	49%
10. 市民・事業者・市が協働して取り組むネットワークづくり	121人	12%
11. その他	9人	1%
計	2,582人	266%



問2 - 16 今後、環境を守るための取り組みを推進するうえで、事業者の役割として何を期待しますか（特に期待するものを3つまで○）

・設問に対し、「環境にやさしい製品・サービスの提供」の回答が最も多く53%、次いで「環境に関する法令などの順守」の回答が42%という結果となりました。

1. 環境に関する法令などの順守	410人	42%
2. 環境にやさしい製品・サービスの提供	512人	53%
3. 製品の製造やサービスを提供する段階における環境配慮	304人	31%
4. 事業者の率先した環境保全活動	311人	32%
5. 市民・事業者・市が協働して取り組むネットワークづくり	211人	22%
6. 市民などの活動を支援する仕組みづくり	145人	15%
7. 市民などが利用しやすい環境情報の収集と発信	352人	36%
8. 環境に関する講習会などの開催	54人	6%
9. 環境に関する新たな事業展開(雇用創出)	146人	15%
10. その他	7人	1%
計	2,482人	256%



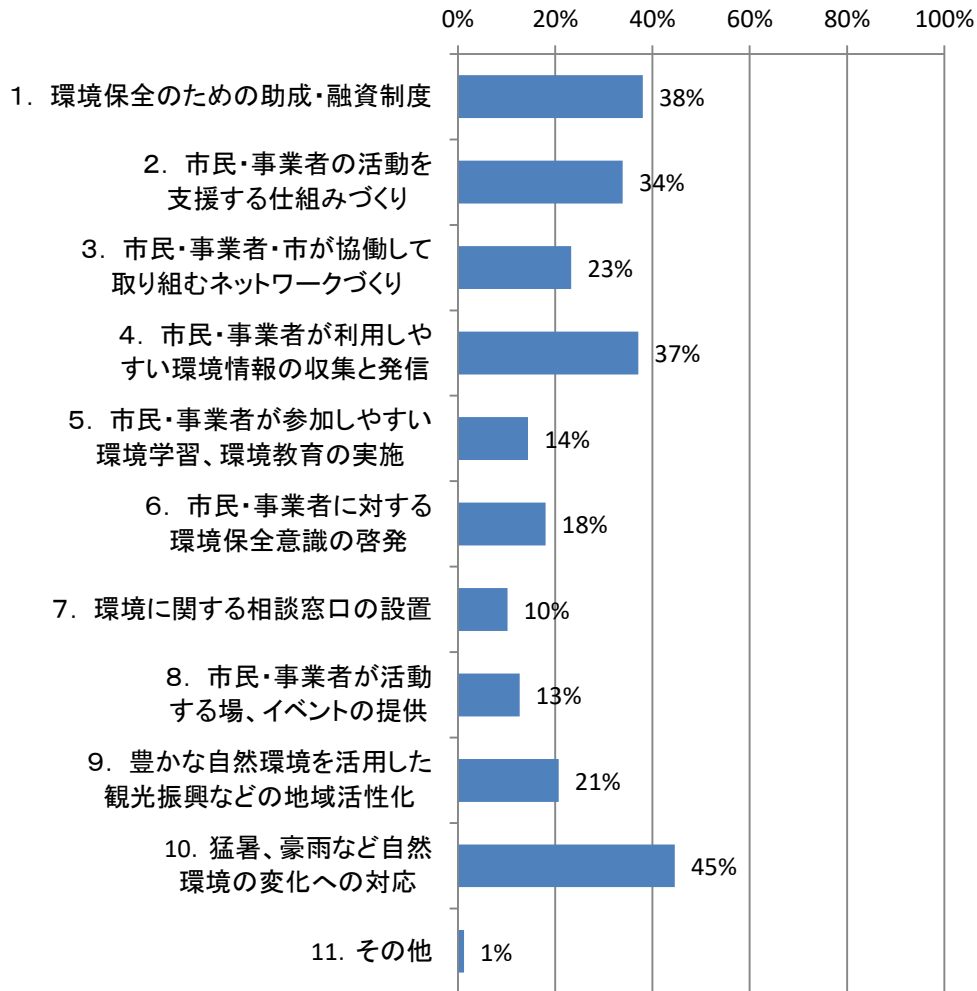


問2 - 17 今後、環境を守るための取り組みを推進するうえで、深谷市の役割として

何を期待しますか。(特に期待するものを3つまで○)

・設問に対し、「猛暑、豪雨など自然環境の変化への対応」の回答が最も多く45%、次いで「環境保全のための助成・融資制度」の回答が38%という結果となりました。

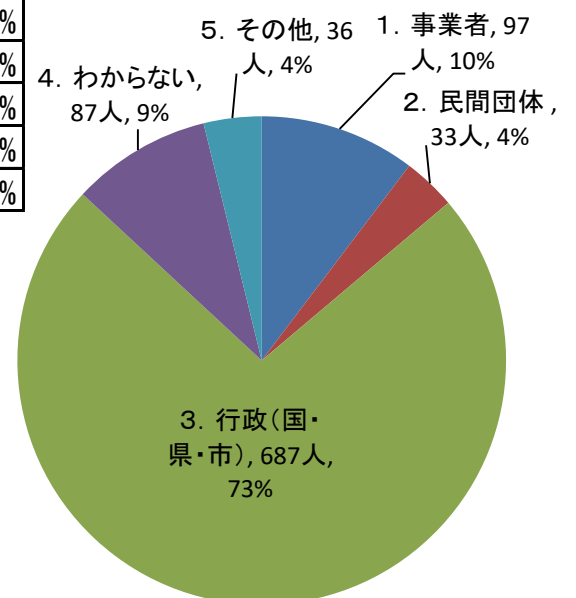
1. 環境保全のための助成・融資制度	369人	38%
2. 市民・事業者の活動を支援する仕組みづくり	329人	34%
3. 市民・事業者・市が協働して取り組むネットワークづくり	226人	23%
4. 市民・事業者が利用しやすい環境情報の収集と発信	360人	37%
5. 市民・事業者が参加しやすい環境学習、環境教育の実施	140人	14%
6. 市民・事業者に対する環境保全意識の啓発	175人	18%
7. 環境に関する相談窓口の設置	99人	10%
8. 市民・事業者が活動する場、イベントの提供	123人	13%
9. 豊かな自然環境を活用した観光振興などの地域活性化	201人	21%
10. 猛暑、豪雨など自然環境の変化への対応	433人	45%
11. その他	12人	1%
計	3,883人	255%



問2 - 18 今後、環境を守るための取り組みを推進するうえで、最も重要な役割を担うのは、次のうちどれだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「行政(国・県・市)」の回答が最も多く73%、次いで「事業者」の回答が10%という結果となりました。

1. 事業者	97人	10%
2. 民間団体	33人	3%
3. 行政(国・県・市)	687人	71%
4. わからない	87人	9%
5. その他	36人	4%
無回答	31人	3%
計	971人	100%

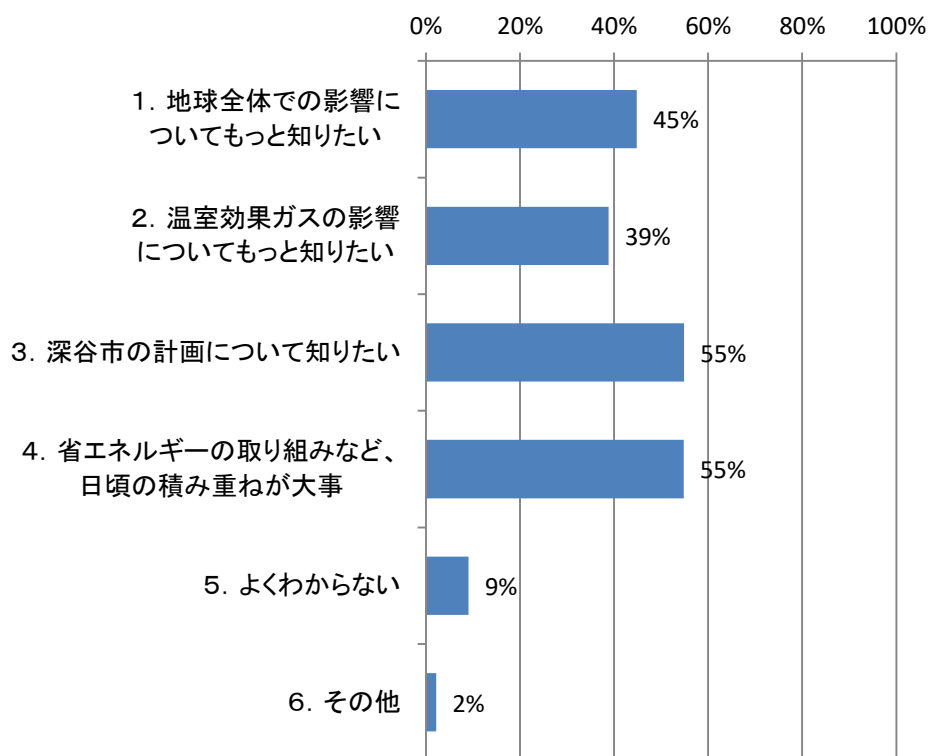


## (2) 地球温暖化について

問3-19 温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出による地球温暖化問題について、どのように思われていますか。(3つまで○)

・設問に対し、「深谷市の計画について知りたい」の回答が最も多く55%、次いで「省エネルギーの取り組みなど、日頃の積み重ねが大事」の回答が55%という結果となりました。

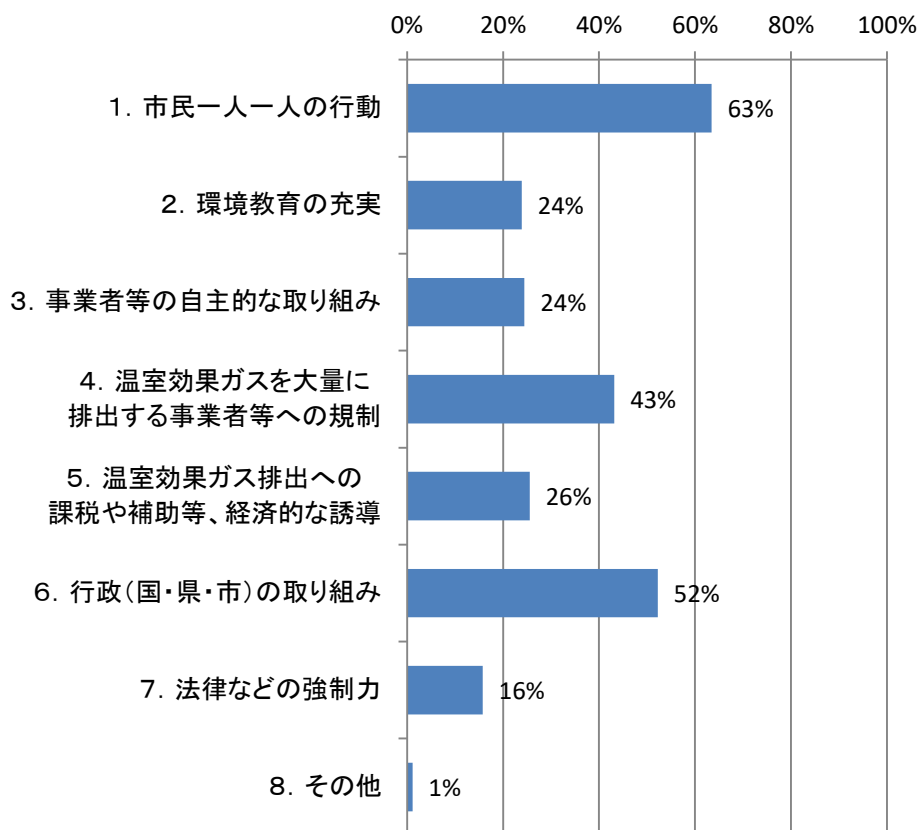
1. 地球全体での影響についてもっと知りたい	435人	45%
2. 温室効果ガスの影響についてもっと知りたい	377人	39%
3. 深谷市の計画について知りたい	533人	55%
4. 省エネルギーの取り組みなど、日頃の積み重ねが大事	532人	55%
5. よくわからない	88人	9%
6. その他	21人	2%
計	1,986人	205%



問3 - 20 温室効果ガス排出量の削減を進めるための取り組みとして有効と考えることは何ですか。(特に有効だと思うものを3つまで○)

・設問に対し、「市民一人一人の行動」の回答が最も多く63%、次いで「行政(国・県・市)の取り組み」の回答が52%という結果となりました。

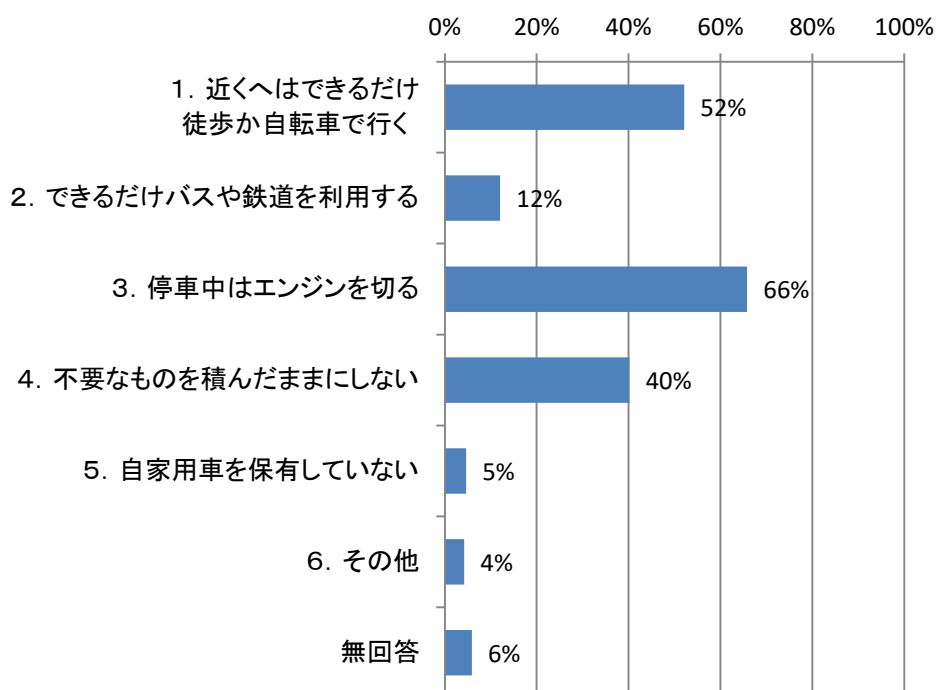
1. 市民一人一人の行動	616人	63%
2. 環境教育の充実	232人	24%
3. 事業者等の自主的な取り組み	237人	24%
4. 温室効果ガスを大量に排出する事業者等への規制	419人	43%
5. 温室効果ガス排出への課税や補助等、経済的な誘導	248人	26%
6. 行政(国・県・市)の取り組み	507人	52%
7. 法律などの強制力	153人	16%
8. その他	11人	1%
計	2,423人	250%



問3 - 2 1 自家用車の利用に関して、日常生活で行っていることはありますか。(あてはまるものすべて○)

・設問に対し、「停車中はエンジンを切る」の回答が最も多く66%、次いで「近くへはできるだけ徒歩か自転車で行く」の回答が52%という結果となりました。

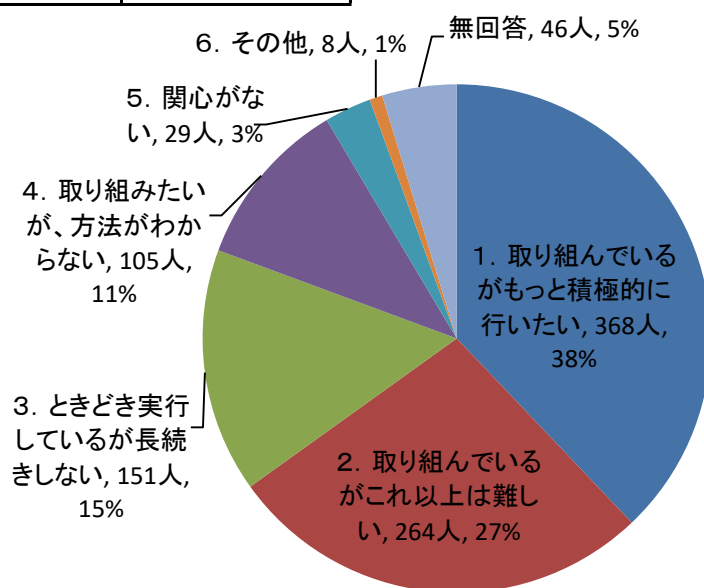
1. 近くへはできるだけ徒歩か自転車で行く	506人	52%
2. できるだけバスや鉄道を利用する	117人	12%
3. 停車中はエンジンを切る	639人	66%
4. 不要なものを積んだままにしない	390人	40%
5. 自家用車を保有していない	45人	5%
6. その他	41人	4%
無回答	57人	6%
計	1,738人	179%



問3 - 2 2 今後、省エネルギーや省資源、ごみの減量などの取り組みを進めることについて、どのよう  
にお考えですか。(あてはまるものひとつに○)

・設問に対し、「取り組んでいるがもっと積極的に行いたい」の回答が最も多く 38%、次いで「取り組ん  
でいるがこれ以上は難しい」の回答が 27%という結果となりました。

1. 取り組んでいるがもっと積極的に行いたい	368人	38%
2. 取り組んでいるがこれ以上は難しい	264人	27%
3. ときどき実行しているが長続きしない	151人	16%
4. 取り組みたいが、方法がわからない	105人	11%
5. 関心がない	29人	3%
6. その他	8人	1%
無回答	46人	5%
計	971人	100%

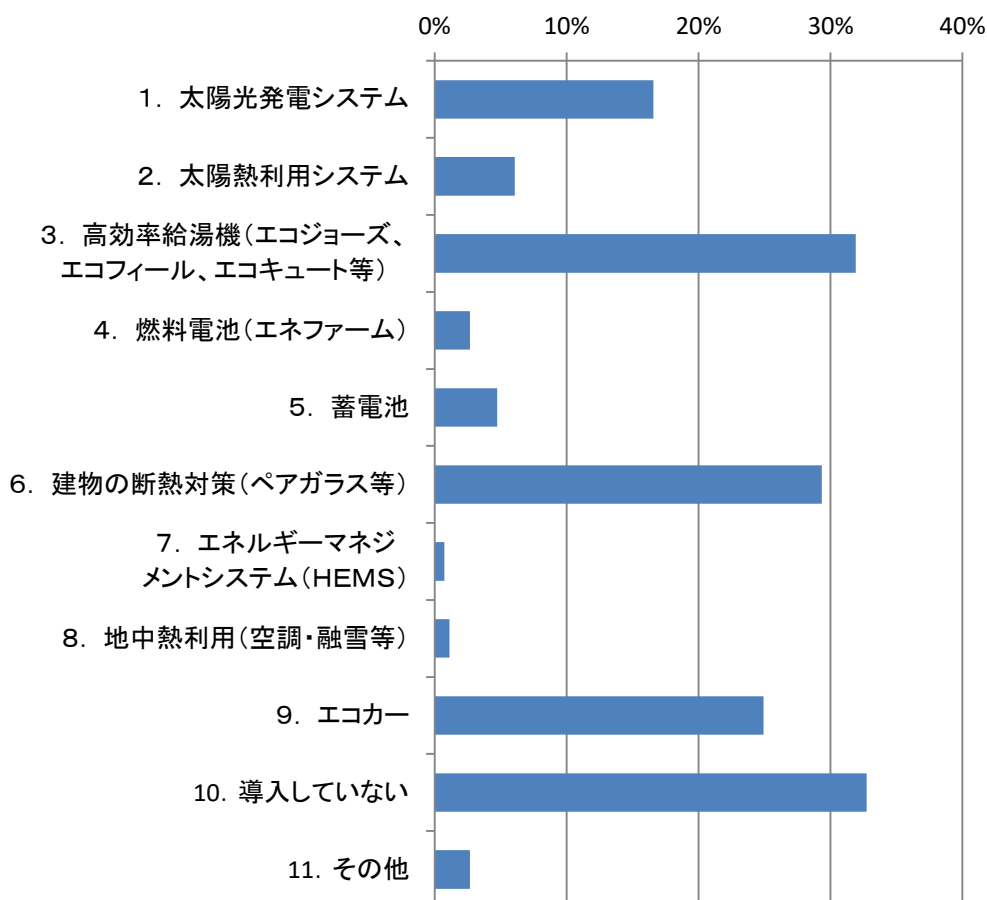


問3 - 23 家庭における省エネルギー設備の導入状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

・設問に対し、「導入していない」の回答が最も多く33%、次いで「高効率給湯機（エコジョーズ、エコフィール、エコキュート等）」の回答が32%という結果となりました。

1. 太陽光発電システム	161人	17%
2. 太陽熱利用システム	59人	6%
3. 高効率給湯機（エコジョーズ、エコフィール、エコキュート等）	310人	32%
4. 燃料電池（エネファーム）	26人	3%
5. 蓄電池	46人	5%
6. 建物の断熱対策（ペアガラス等）	285人	29%
7. エネルギーマネジメントシステム（HEMS）	7人	1%
8. 地中熱利用（空調・融雪等）	11人	1%
9. エコカー	242人	25%
10. 導入していない	318人	33%
11. その他	26人	3%
計	1,533人	158%

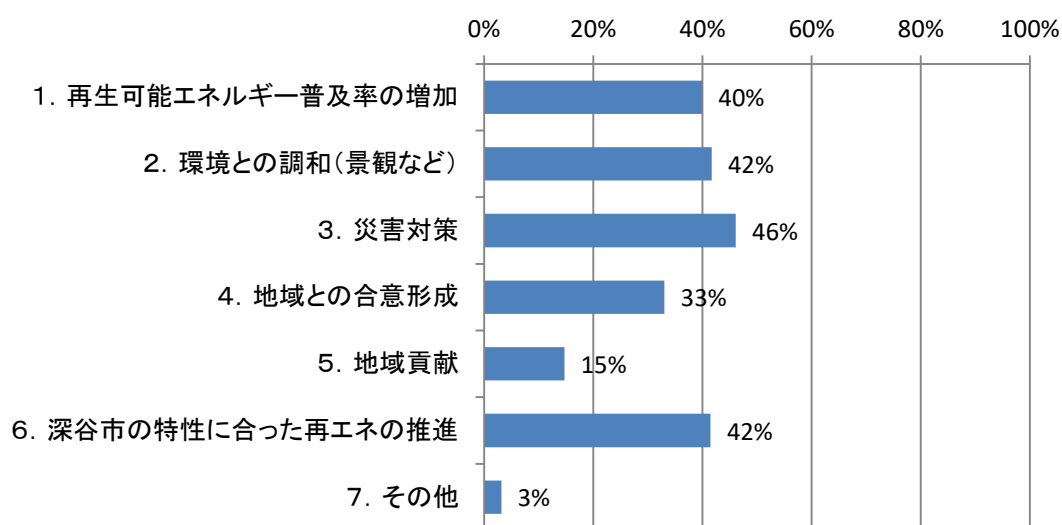


問3 - 2 4 大規模太陽光発電施設が計画される際に優先されることは何ですか。

(特に重要だと思うものを3つまで○)

・設問に対し、「災害対策」の回答が最も多く46%、次いで「環境との調和」の回答が42%という結果となりました。

1. 再生可能エネルギー普及率の増加	388人	40%
2. 環境との調和(景観など)	405人	42%
3. 災害対策	448人	46%
4. 地域との合意形成	321人	33%
5. 地域貢献	143人	15%
6. 深谷市の特性に合った再エネの推進	403人	42%
7. その他	31人	3%
計	2,182人	220%



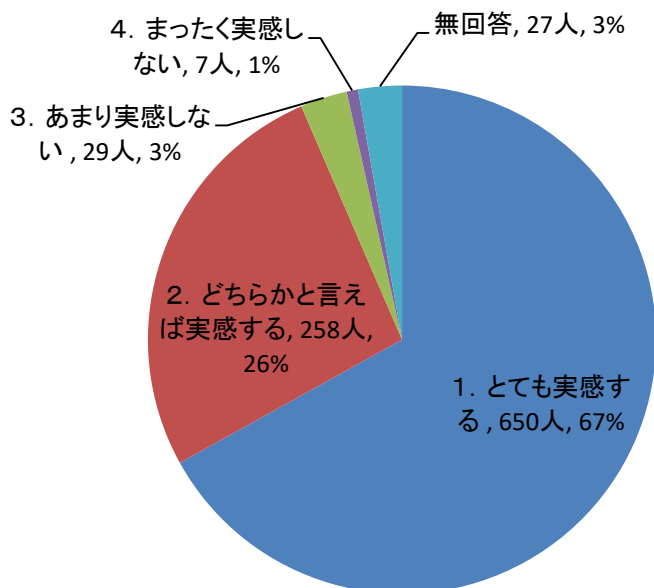


### (3) 気候変動問題について

問4 - 25 近年、地球温暖化の影響に伴い、猛暑日や大雨の頻度の増加など、気象及び気候の極端な現象の発生頻度が高まっています。気候変動の影響を実感することはありますか。

・設問に対し、「とても実感する」の回答が最も多く67%、次いで「どちらかと言えば実感する」の回答が27%という結果となりました。

1. とても実感する	650人	67%
2. どちらかと言えば実感する	258人	27%
3. あまり実感しない	29人	3%
4. まったく実感しない	7人	1%
無回答	27人	3%
計	971人	100%

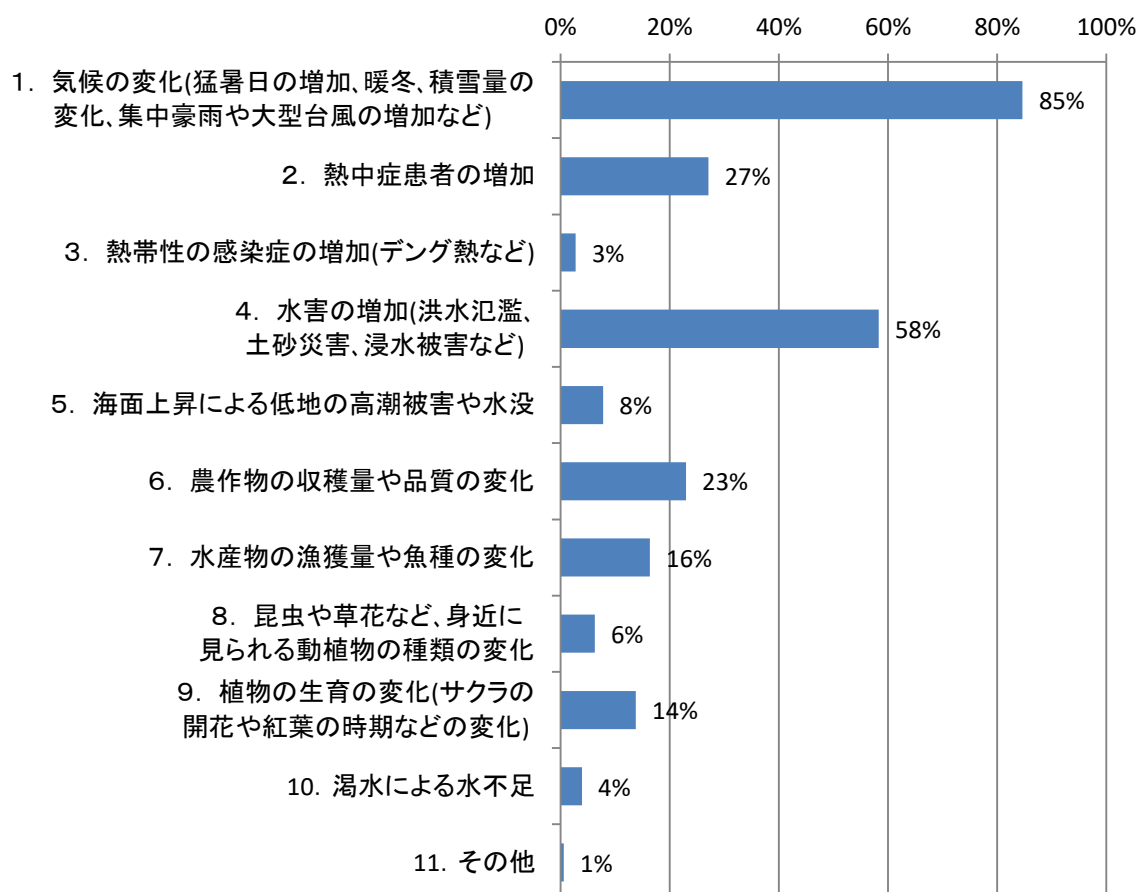


問4 - 26 問25で気候変動の影響をととても実感する、どちらかと言えば実感すると思う

と回答した方にお聞きします。どのような気候変動の影響を実感していますか。(特に実感するものを3つまで○) (実際にご自身が体験したことだけでなく、間接的に耳にしたものを含みます。)

・設問に対し、「気候の変化」の回答が最も多く85%、次いで「水害の増加」の回答が58%という結果となりました。

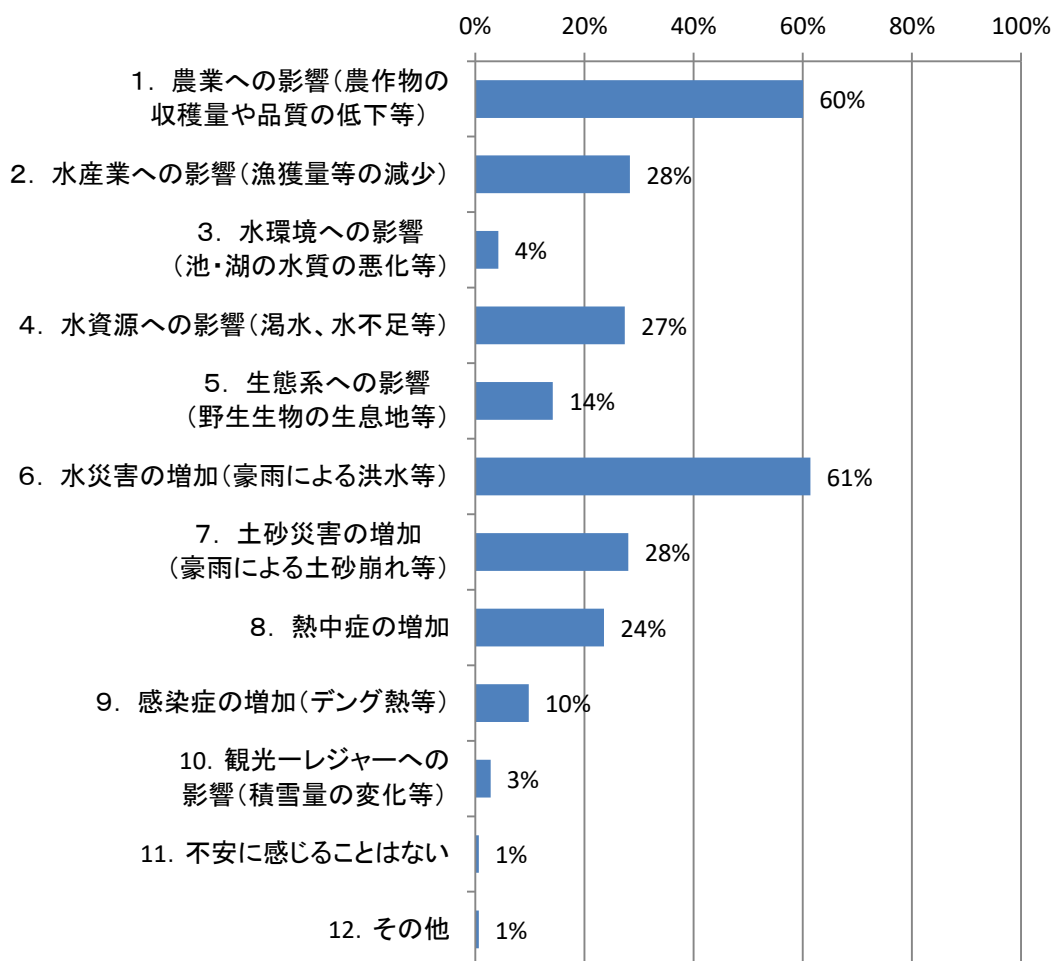
1. 気候の変化(猛暑日の増加、暖冬、積雪量の変化、集中豪雨や大型台風の増加など)	822人	85%
2. 熱中症患者の増加	263人	27%
3. 熱帯性の感染症の増加(デング熱など)	27人	3%
4. 水害の増加(洪水氾濫、土砂災害、浸水被害など)	566人	58%
5. 海面上昇による低地の高潮被害や水没	76人	8%
6. 農作物の収穫量や品質の変化	223人	23%
7. 水産物の漁獲量や魚種の変化	159人	16%
8. 昆虫や草花など、身近に見られる動植物の種類の変化	61人	6%
9. 植物の生育の変化(サクラの開花や紅葉の時期などの変化)	134人	14%
10. 渇水による水不足	38人	4%
11. その他	6人	1%
計	2,375人	245%



問4-27 地球温暖化に伴う影響(気候変動等)が、私たちの生活に及ぼす影響であなたが一番不安に感じる影響は何ですか。(あてはまるもののなかで特に不安に感じるものを3つまで○)

・設問に対し、「水災害の増加」の回答が最も多く61%、次いで「農業への影響」の回答が60%という結果となりました。

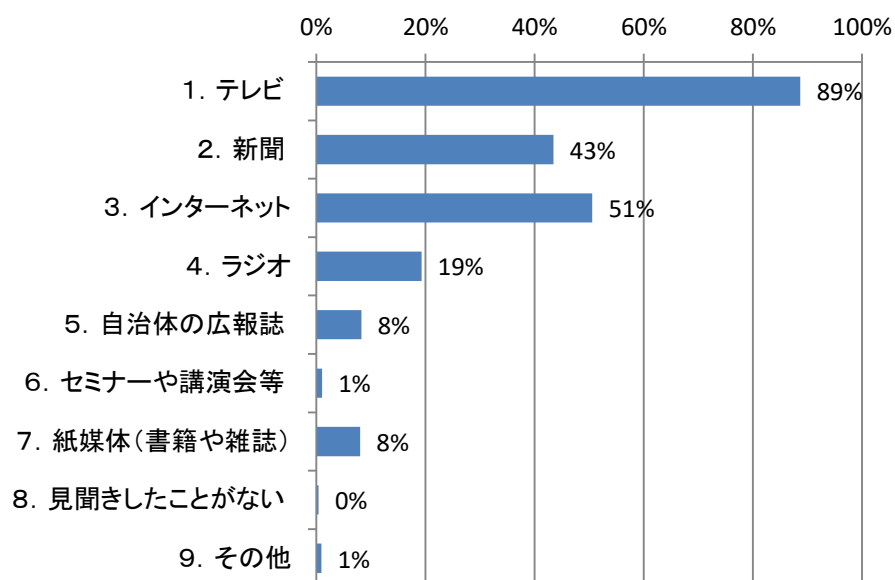
1. 農業への影響(農作物の収穫量や品質の低下等)	583人	60%
2. 水産業への影響(漁獲量等の減少)	275人	28%
3. 水環境への影響(池・湖の水質の悪化等)	41人	4%
4. 水資源への影響(渇水、水不足等)	266人	27%
5. 生態系への影響(野生生物の生息地等)	138人	14%
6. 水災害の増加(豪雨による洪水等)	596人	61%
7. 土砂災害の増加(豪雨による土砂崩れ等)	272人	28%
8. 熱中症の増加	229人	24%
9. 感染症の増加(デング熱等)	95人	10%
10. 観光レジャーへの影響(積雪量の変化等)	27人	3%
11. 不安に感じることはない	6人	1%
12. その他	6人	1%
計	2,571人	261%



問4 - 28 地球温暖化に伴う影響(気候変動等)に関する情報について、どの媒体からの情報をよく見聞きしますか。(特によく見聞きすると思うものを3つまで○)

・設問に対し、「テレビ」の回答が最も多く 89%、次いで「インターネット」の回答が 51%という結果となりました。

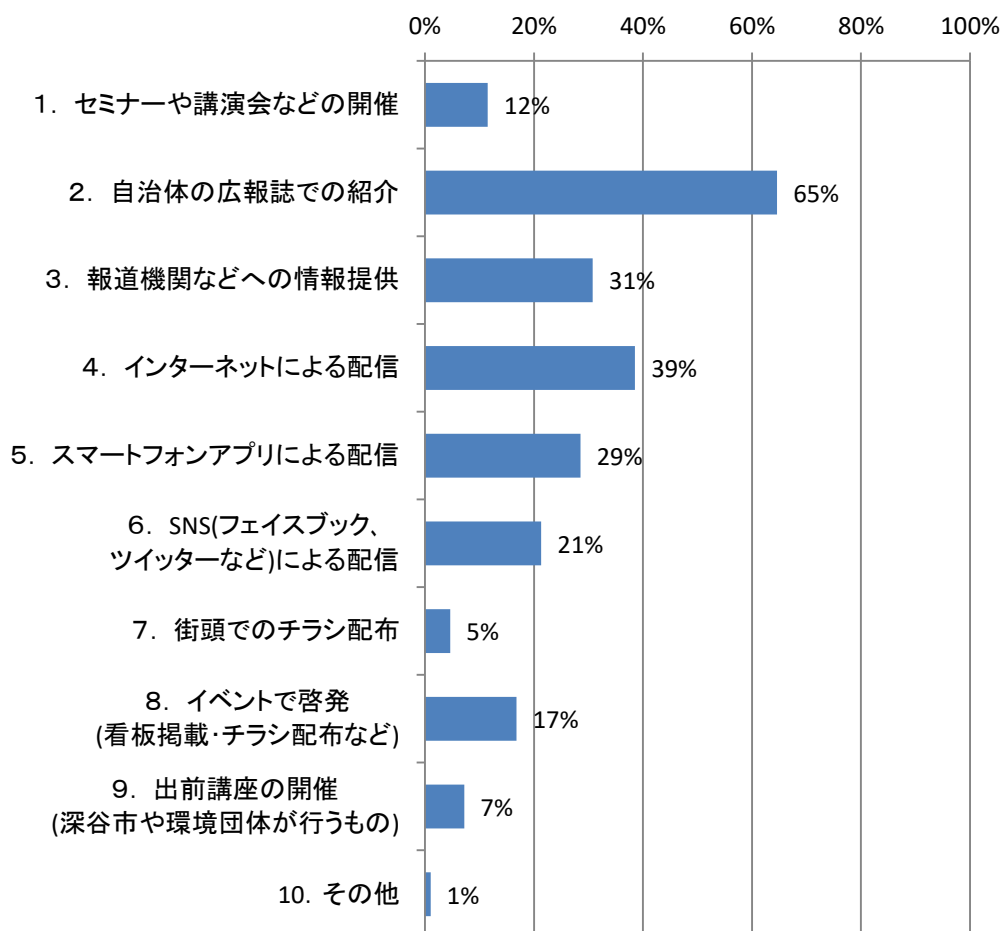
1. テレビ	861人	89%
2. 新聞	422人	43%
3. インターネット	491人	51%
4. ラジオ	187人	19%
5. 自治体の広報誌	80人	8%
6. セミナーや講演会等	10人	1%
7. 紙媒体(書籍や雑誌)	78人	8%
8. 見聞きしたことがない	4人	0%
9. その他	9人	1%
計	2,185人	221%



問4 - 29 今後、深谷市が、気候変動に伴う影響に関する情報を広報・発信するために、  
 どのような手段が効果的だと考えられますか。(特に効果的だと思うものを3つまで○)

・設問に対し、「自治体の広報誌での紹介」の回答が最も多く65%、次いで「インターネットによる配信」の回答が39%という結果となりました。

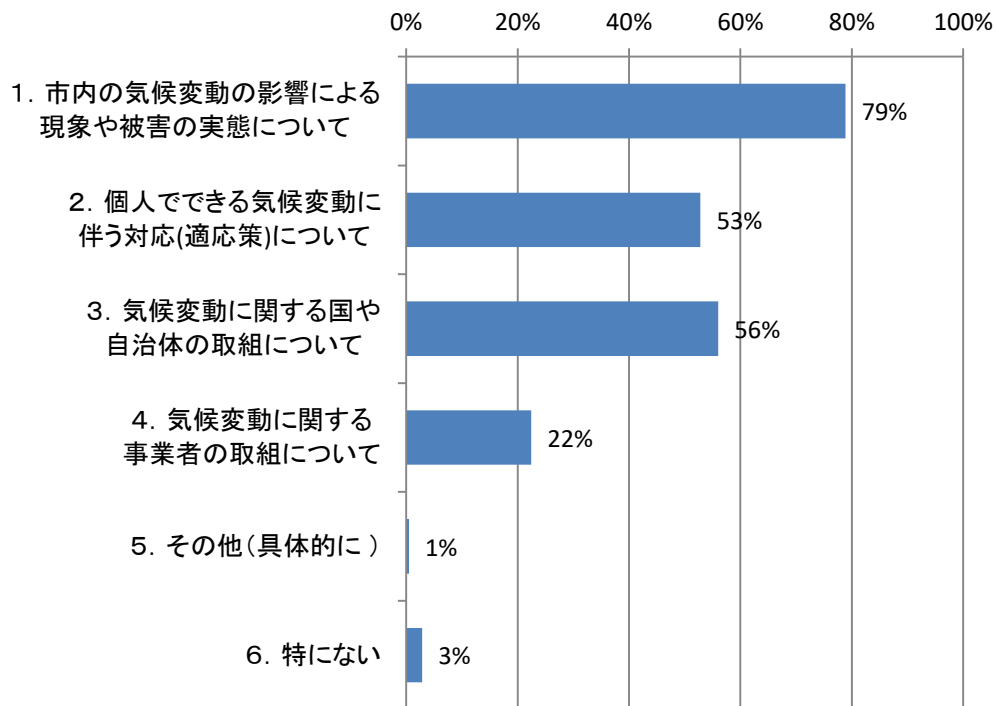
1. セミナーや講演会などの開催	112人	12%
2. 自治体の広報誌での紹介	627人	65%
3. 報道機関などへの情報提供	299人	31%
4. インターネットによる配信	374人	39%
5. スマートフォンアプリによる配信	277人	29%
6. SNS(フェイスブック、ツイッターなど)による配信	207人	21%
7. 街頭でのチラシ配布	45人	5%
8. イベントで啓発(看板掲載・チラシ配布など)	163人	17%
9. 出前講座の開催(深谷市や環境団体が行うもの)	70人	7%
10. その他	10人	1%
計	2,212人	225%



問4-30 あなたは深谷市が発信する気候変動に関する情報の内容として、どのような情報を知りたいと思いますか。(特にあてはまるものを3つまで○)

・設問に対し、「市内の気候変動の影響による現象や被害の実態について」の回答が最も多く79%、次いで「気候変動に関する国や自治体の取組について」の回答が56%という結果となりました。

1. 市内の気候変動の影響による現象や被害の実態について	766人	79%
2. 個人でできる気候変動に伴う対応(適応策)について	513人	53%
3. 気候変動に関する国や自治体の取組について	544人	56%
4. 気候変動に関する事業者の取組について	218人	22%
5. その他(具体的に)	5人	1%
6. 特にない	28人	3%
計	2,123人	214%



## 4 自由意見の主な意見について

市民アンケートの自由回答欄における意見について、主なものを紹介いたします。

### ①ゴミについて

ゴミに関する意見について、ゴミ収集はこれまで通りが良い、ゴミ分別の周知徹底といった意見が多く見られました。

例)

- ・「ゴミの減量などできることはやっていますが、これからも色々な事をもっと知りたいと思います。」
- ・「深谷市で取り組んでいる具体的な取り組みについては、あまり知りませんでした。今回のアンケートをきっかけに、市での取り組みを調べたいと思い始めております。2年ほど前に越してきてアパートに住んでいますが、ゴミの分別が守られていないと感じます。アパートにはゴミの分別について注意喚起しているポスターがありますが、ペットボトルはつぶさずラベルもキャップもついたままのものも良く見かけます。市民ひとりひとりが守れるように、何か対策して頂けたらありがたいです。物があふれる世の中なので、買ったものを長く使うことが減っているように思います。フリマアプリがありますが、手数料などもかかり、配送手配など手間もかかってしまいます。各家庭で不要な物を回収する取組みや、フリーマーケットを開催するなど、ゴミそのものを減らす取り組みを深谷市で実施して頂けたら嬉しいです。」

### ②環境問題の情報について

環境問題の情報について、深谷市の取組をもっと知りたい、情報発信をして欲しいといった意見が多く見られました。

例)

- ・「環境問題、地球温暖化、気候変動など、日頃真剣に取り組むことがなかったので、このアンケートの内容を見て、知らなかったことが多々ありました。少し勉強になりました。」
- ・「どのように情報収集したら良いのか。時間に縛られない自由度の高いインターネット発信希望。もっと身近な問題として取り組みたいが方法が分からない。」
- ・「深谷市でどのような環境対策が行われているのか、私自身があまり知らないことに、このアンケートを答えて気づきました。広報誌などでもっと情報を発信してほしいです。また私たちにできることをわかりやすく発信して頂けると、取り組みやすいと思います。」

### ③環境に関する取り組みについて

環境に関する取り組みについて、個々人の取組が重要であるといった意見が多く見られました。

例)

- ・「一人一人の行動がとても重要だと感じます。」
- ・「市民一人一人が自分の問題として考えられるように発信してほしい。・子供達から元気なお年寄りまでみんなが参加できるような仕組みが出来たらいいと思います。(楽しくなるようなメリットなど)・早くみんなの協力で進めて行ってほしいです。」

### ④ゼロカーボンシティについて

ゼロカーボンシティの取組について、今後を期待する意見が多く見られました。

例)

- ・「ゼロカーボンシティ宣言をしたので政府に期待しています。」

### ⑤アンケートについて

アンケートを行うことについて、類似した質問が多い、紙で行うのは非効率であるといった意見が多く見られました。

例)

- ・「アンケート自体紙を使用せず、ネットでお願いしたい。」
- ・「アプリやSNS等でアンケートを取るように移行した方が良いと思いました。任意で紙のアンケートを2000人に配布すること自体が、環境に対して良いことだとは思いません。」

### ⑥太陽光パネルについて

深谷市に設置している太陽光パネルについて、景観への影響や、廃棄物となった場合の心配、台風などによる被害の心配の意見が多く見られました。

例)

- ・「太陽光発電がいたる所で出来ていますが20年くらいして発電がおちた時あの太陽光の機器類が放置されたりしないのかと気になる所です。深谷市内にある山林がかなり広い範囲で開発されているのを見ると心配になります。」
- ・「太陽光発電は環境を悪くするので良くない。台風時に飛ばされる恐れもあり、雨水を地下へ浸透させることも阻害する。ランニングコストを見た場合、B/Cが出ているかも疑問。」



【市の取り組みの重要度・満足度の相対比較及び相関分析について】

環境への取り組みに対する満足度・重要度の相対比較と相関分析を行うため、満足度と重要度を下記により指数化しました。

① 各選択肢の指数の基数

基数	5	4	3	2	1
満足度	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
重要度	重要	やや重要	どちらでもない	やや重要でない	重要でない

② 指数の算出方法（※満足度の場合）

$[5 \times (\text{「満足」の回答者数}) + 4 \times (\text{「やや満足」の回答者数}) + 3 \times (\text{「どちらでもない」の回答者数}) + 2 \times (\text{「やや不満」の回答者数}) + 1 \times (\text{「不満」の回答者数})] / \text{回答者総数}$ （※無回答・無効を除く）

③ 相対比較及び相関分析結果

分析の結果、満足度・重要度の最も高い取組は「廃棄物の適正な処分」となりました。また、満足度が低く、重要度が高い取組としては「不法投棄やポイ捨て対策」となりました。

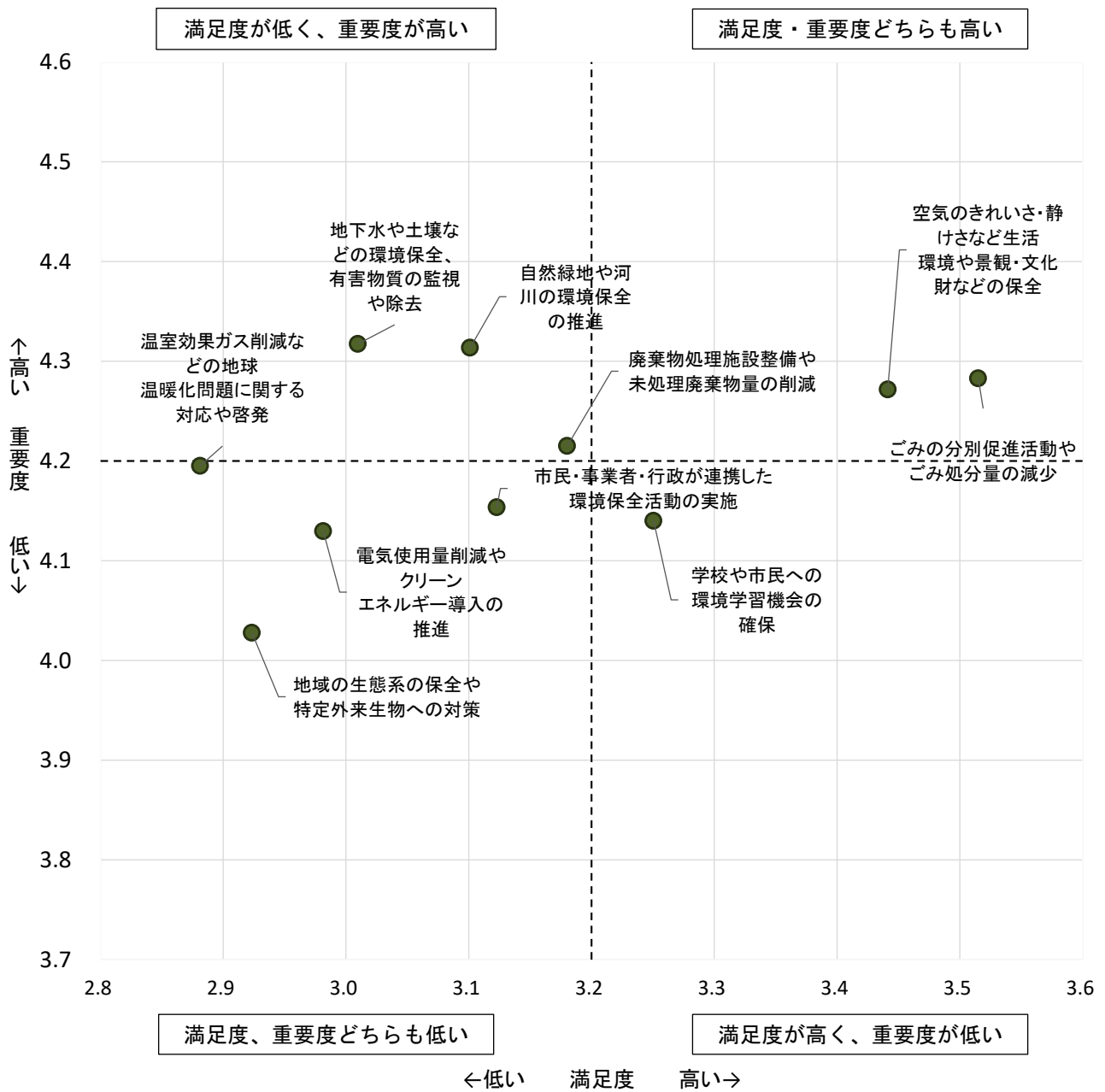


図 市の取り組みの重要度・満足度の相対比較及び相関（市民）